(様式第10)

口大医総第５６９号
平成２９年１０月３日

厚生労働大臣　　殿

開設者名　　国立大学法人山口大学長
岡　　正　朗

山口大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、平成　　年度の業務に関して報告します。

記

1　開設者の住所及び氏名

住　　所	〒753-8511　山口県山口市吉田1677-1
氏　　名	国立大学法人 山口大学

(注)　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2　名　　称

山口大学医学部附属病院

3　所在の場所

〒755-8505 山口県宇部市南小串１－１－１ 電話 (0836) 22－2111

4　診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注)　上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科			有　・　無
内科と組み合わせた診療科名等			
①呼吸器内科	②消化器内科	③循環器内科	4腎臓内科
⑤神経内科	6血液内科	7内分泌内科	8代謝内科
9感染症内科	⑩アレルギー疾患内科またはアレルギー科		⑪リウマチ科
診療実績			

(注) 1　「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2　「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していな

い診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	有 ・ 無
外科と組み合わせた診療科名 ①呼吸器外科　②消化器外科　3乳腺外科　4心臓外科 5血管外科　⑥心臓血管外科　7内分泌外科　⑧小児外科	
診療実績	

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科	⑦産婦人科
8産科	9婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科	13放射線診断科	
14放射線治療科		⑮麻酔科	⑯救急科			

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有 ・ 無
歯科と組み合わせた診療科名 1小児歯科　2矯正歯科　③歯科口腔外科	
歯科の診療体制 本院は、歯科医師を有する特定機能病院である。	

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1心療内科	2診療検査科	3病理診断科	4ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精　神	感染症	結　核	療　養	一　般	合　計
51床	床	床	床	685床	736床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職　種	常　勤	非常勤	合　計	職　種	員　数	職　種		員　数
医　師	205人	213人	324.7人	看護補助者	51人	診療エックス線技師		0人
歯科医師	4人	14人	15.4人	理学療法士	12人	臨床検査	臨床検査技師	58人
薬剤師	50人	0人	50人	作業療法士	6人		衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	7人		その他	0人
助産師	29人	0人	29人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師		0人
看護師	727人	21人	742.8人	臨床工学士	12人	医療社会事業従事者		4人
准看護師	0人	0人	0人	栄養士	9人	その他の技術員		25人
歯科衛生士	1人	2人	2.5人	歯科技工士	1人	事務職員		209人
管理栄養士	12人	0人	12人	診療放射線技師	39人	その他の職員		30人

(注) 1　報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7　専門の医師数

専門医名	人　数	専門医名	人　数
総合内科専門医	30人	眼科専門医	9人
外科専門医	36人	耳鼻咽喉科専門医	11人
精神科専門医	7人	放射線科専門医	9人
小児科専門医	15人	脳神経外科専門医	10人
皮膚科専門医	2人	整形外科専門医	13人
泌尿器科専門医	9人	麻酔科専門医	15人
産婦人科専門医	11人	救急科専門医	14人
		合　計	191人

(注) 1　報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
2　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8　管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名（　杉野　法広　　）　任命年月日　平成29年　4月　1日

医療安全管理委員会委員（平成19年4月1日～現在）

9　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	597.1 人	16.5 人	613.6 人
1日当たり平均外来患者数	1,228.7 人	74.8 人	1303.6 人
1日当たり平均調剤数			2844 剤
必要医師数			137 人
必要歯科医師数			6 人
必要薬剤師数			36 人
必要（准）看護師数			351 人

（注）1　「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2　入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数（毎日の 24 時現在の在院患者数の合計）を暦日で除した数を記入すること。

3　外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4　調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5　必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10　施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	252 m²	鉄筋コンクリート	病床数	12床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	［固定式の場合］ 床面積 135.1 m² ［移動式の場合］ 台数 11 台				病床数	12 床
医薬品情報管理室	［専用室の場合］ 床積 47 m² ［共用室の場合］ 共用する室名					
化学検査室	435 m²	鉄筋コンクリート	（主な設備）生化学血液検分析装置及びライン			
細菌検査室	87 m²	鉄筋コンクリート	（主な設備）安全キャビネット、オートクレーブ、細菌同定感受性装置			
病理検査室	306 m²	鉄筋コンクリート	（主な設備）卓上フード型局所排気装置、自動包埋装置、自動染色装置			
病理解剖室	479 m²	鉄筋コンクリート	（主な設備）剖検台、写真撮影装置、煮沸滅菌器			
研究室	10,855m²	鉄筋コンクリート	（主な設備）光トポグラフィ装置、遺伝子発現解析システム			
講義室	1,837 m²	鉄筋コンクリート	室数	10室	収容定員	1,284人
図書室	590 m²	鉄筋コンクリート	室数	18室	蔵書数	16万冊程度

（注）1　主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11　紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	89.39 %	逆紹介率	59.29 %
算出根拠	A：紹介患者の数	10,859 人	
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	7,887 人	
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,031 人	
	D：初診の患者の数	13,302 人	

（注）1　「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2　「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3　A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
河村 康明	山口県医師会	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	有・無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
大田 明登	大田明登法律事務所		法律に関する識見を有するため	有・無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
玉田 英生	宇部興産株式会社		医療を受ける者の代表者	有・無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
				有・無	
				有・無	
				有・無	

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法 大学ウェブページに委員名簿及び選定理由を掲載	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	6人
角膜ジストロフィーの遺伝子解析	5人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変（MRD）量の測定	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数
パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る。）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る。）の併用療法　上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん	0人
C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変に対する自己骨髄細胞投与療法　C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変（Child－Pugh分類による点数が七点以上のものであって、従来の治療法（肝移植術の除く。）ではその治療に係る効果が認められないものに限る。）	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

（注）1　当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（注）2　医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	2	56	ベーチェット病	39
2	筋萎縮性側索硬化症	21	57	特発性拡張型心筋症	33
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	3
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	4	60	再生不良性貧血	19
6	パーキンソン病	155	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	6	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	34
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	65	原発性免疫不全症候群	2
11	重症筋無力症	61	66	IgA 腎症	13
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	8
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	83	68	黄色靭帯骨化症	31
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	40	69	後縦靭帯骨化症	126
15	封入体筋炎	2	70	広範脊柱管狭窄症	8
16	クロウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	31
17	多系統萎縮症	4	72	下垂体性ADH分泌異常症	1
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	27	73	下垂体性TSH分泌亢進症	0
19	ライソゾーム病	0	74	下垂体性PRL分泌亢進症	5
20	副腎白質ジストロフィー	1	75	クッシング病	2
21	ミトコンドリア病	5	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	50	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	11
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	44
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
27	特発性基底核石灰化症	1	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	6	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	75
30	遠位型ミオパチー	1	85	特発性間質性肺炎	12
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	9
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	3
34	神経線維腫症	17	89	リンパ脈管筋腫症	1
35	天疱瘡	14	90	網膜色素変性症	17
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	6	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	46
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	3
40	高安動脈炎	17	95	自己免疫性肝炎	10
41	巨細胞性動脈炎	0	96	クローン病	96
42	結節性多発動脈炎	7	97	潰瘍性大腸炎	147
43	顕微鏡的多発血管炎	21	98	好酸球性消化管疾患	1
44	多発血管炎性肉芽腫症	9	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	3	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	12	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	16	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	125	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	56	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	62	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	21	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	10	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	3	109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
55	再発性多発軟骨炎	0	110	ブラウ症候群	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
111	先天性ミオパチー	2	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	4
113	筋ジストロフィー	1	163	特発性後天性全身性無汗症	0
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜症	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	2
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	0
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	1
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR－X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
211	左心低形成症候群	1	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	2
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腱黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	1	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	2	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	6	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	2
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	0	274	骨形成不全症	0
227	オスラー病	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形（頚部顔面病変）	0
231	α1－アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形（頚部口腔咽頭びまん性病変）	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形（頚部顔面又は四肢病変）	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	2
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸	0
244	メープルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膵炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	3
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース－1－リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	21

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0
309	進行性ミオクローヌスてんかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β―ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L―アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	0
318	シトリン欠損症	0	330	先天性気管狭窄症	0

（注）「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科外来診療環境体制加算	・ハイリスク分娩管理加算
・特定機能病院入院基本料	・病棟薬剤業務実施加算1
・臨床研修病院入院診療加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・救急医療管理加算	・データ提出加算
・超急性期脳卒中加算	・退院支援加算
・妊産婦緊急搬送入院加算	・精神疾患診療体制加算
・診療録管理体制加算2	・精神科急性期医師配置加算
・医師事務作業補助体制加算1	・救命救急入院料3
・急性期看護補助体制加算	・救命救急入院料4
・看護職員夜間配置加算	・特定集中治療室管理料4
・乳幼児加算・幼児加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・超重症児（者）入院診療加算・準重症児（者）入院診療加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・看護補助加算	・小児入院医療管理料2
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・小児療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・精神科リエゾンチーム加算	・
・がん診療連携拠点病院加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・感染防止対策地域連携加算	・
・患者サポート体制充実加算	・

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療料）

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・植込型心電図検査
・植込型除細動器移行期加算	・時間内歩行試験
・高度難聴指導管理料	・シャトルウォーキングテスト
・がん性疼痛緩和指導管理料	・胎児心エコー法
・がん患者指導管理料1	・ヘッドアップティルト試験
・がん患者指導管理料2	・人工膵臓検査
・外来緩和ケア管理料	・皮下連続式グルコース測定
・移植後患者指導管理料（臓器移植後）	・長期継続頭蓋内脳波検査
・糖尿病透析予防指導管理料	・中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
・外来放射線照射診療料	・神経学的検査
・がん治療連携計画策定料	・補聴器適合検査
・がん治療連携管理料	・ロービジョン検査判断料
・肝炎インターフェロン治療計画料	・コンタクトレンズ検査料1
・薬剤管理指導料	・小児食物アレルギー負荷検査
・検査・画像情報提供加算	・内服・点滴誘発試験
・医療機器安全管理料1	・センチネルリンパ節生検1
・医療機器安全管理料2	・センチネルリンパ節生検2
・医療機器安全管理料（歯科）	・CT透視下気管支鏡検査加算
・歯科治療総合医療管理料	・画像診断管理加算２
・持続血糖測定器加算	・CT撮影及びMRI撮影
・造血器腫瘍遺伝子検査	・冠動脈CT撮影加算
・遺伝学的検査	・外傷全身CT加算
・HPV核酸検出	・大腸CT撮影加算
・検体検査管理加算（Ⅳ）	・心臓MRI撮影加算
・遺伝カウンセリング加算	・乳房MRI撮影加算
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来化学療法加算1	・1回線量増加加算
・無菌製剤処理料	・強度変調放射線治療（IMRT）
・心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）	・画像誘導放射線治療（IGRT）
・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	・体外照射呼吸性移動対策加算
・廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）	・定位放射線治療
・運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	・画像誘導密封小線源治療加算
・がん患者リハビリテーション料	・歯科技工加算1及び2
・歯科口腔リハビリテーション料2	・CAD／CAM冠
・リンパ浮腫複合的治療料	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）	・病理診断管理加算1
・医療保護入院等診療料	・口腔病理診断管理加算1
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1	・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
・硬膜外自家血注入	・悪性黒色腫センチネルリンパ節加算
・エタノールの局所注入（甲状腺）	・組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）
・エタノールの局所注入（副甲状腺）	・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）
・人工膵臓療法	・腫瘍脊椎骨全摘術
・一酸化窒素吸入療法	・脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術
・磁気による膀胱等刺激法	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・麻酔管理料（Ⅰ）	・羊膜移植術
・麻酔管理料（Ⅱ）	・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））
・放射線治療専任加算	・網膜付着組織を含む硝子体切除術（眼内内視鏡を用いるもの）
・外来放射線治療加算	・網膜再建術
・高エネルギー放射線治療	・人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ型（拡大副鼻腔手術）	・人工尿道括約筋植込・置換術
・乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳頭乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）	・胎児胸腔・羊水腔シャント術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	・輸血管理料Ｉ
・経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・経カテーテル大動脈弁置換術	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・経皮的中隔心筋焼灼術	・歯周組織再生誘導手術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）
・植込型心電図記録計移植術及び植込型心電図記録計摘出術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術	
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術	
・大動脈バルーンパンピング法（IABP法）	
・補助人工心臓	
・経皮的大動脈遮断術	
・ダメージコントロール手術	
・胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	
・胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うもの）	
・腹腔鏡下肝切除術	
・生体部分肝移植術	
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	
・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	
・同種死体腎移植術	
・生体腎移植術	
・膀胱水圧拡張術	
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	(1.) 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	毎月1回程度開催しており、平成28年度においては、8回開催している。
剖検の状況	剖検症例数 28例 ／ 剖検率 12.8%

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
培養ヒト骨髄細胞を用いた低侵襲肝臓再生療法の開発	坂井田 功	消化器内科学講座	50,100,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
安全に安心して分娩することができる環境づくり	杉野 法広	産科婦人科学講座	2,400,000	補 委	浜田市
がん治療標的探索プロジェクト（がん検体の臨床像解析）	硲 彰一	寄附講座（先端がん治療開発学講座）	3,900,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
がん免疫細胞療法の臨床導入に向けた基盤整備に関する研究	玉田 耕治	免疫学講座	500,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
がん認識抗体と遺伝子導入T細胞によるがん治療を目指した前臨床開発研究	玉田 耕治	免疫学講座	101,487,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
PM/DMのゲノム解析と微小血管障害関連遺伝子の調節機構解析	神田 隆	神経内科学講座	700,000	補 委	国立大学法人筑波大学
非代償性肝硬変患者に対する培養自己骨髄細胞を用いた低侵襲肝臓再生療法の安全性に関する研究	坂井田 功	消化器内科学講座	27,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
免疫性ニューロパチーの治療反応性予測に基づく有効な治療戦略の構築	神田 隆	神経内科学講座	455,000	補 委	学校法人近畿大学
食品を介したダイオキシン類等の人体への影響の把握とその治療法の開発等に関する研究	山﨑 隆弘	臨床検査・腫瘍学講座	1,450,000	補 委	山口県
多発性硬化症生体試料バンクを活用したアジア人特有の遺伝環境因子探索による病態解明	神田 隆	神経内科学講座	845,000	補 委	国立大学法人九州大学
多施設共同研究による肝移植後肝炎ウイルス新規治療の確立と標準化	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	100,000	補 委	国立大学法人九州大学
手術検体を用いたHCV感染マウスの作成	永野 浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	1,500,000	補 委	国立大学法人大阪大学
前庭神経炎のベタヒスチン大量療法に関する研究	山下 裕司	耳鼻咽喉科学講座	350,000	補 委	国立大学法人徳島大学
標準的治療の確立が望まれる難治性疾患に対する新規治療法の開発	松山 豪泰	泌尿器科学講座	273,000	補 委	国立大学法人九州大学
免疫抑制に対する制御能を有するCAR-T細胞を利用したがん治療法の研究	玉田 耕治	免疫学講座	39,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
革新的がん免疫療法開発に関する研究	玉田 耕治	免疫学講座	1,000,000	補 委	国立研究開発法人国立がん研究センター
固形がんに対する次世代型キメラ抗原受容体発現T細胞療法	玉田 耕治	免疫学講座	26,000,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
CARの設計・評価、再生CAR-T細胞の薬効薬理試験準備の支援	玉田 耕治	免疫学講座	5,200,000	補 委	国立大学法人京都大学
脳卒中・循環器病の遠隔医療の開発と検証のための研究	鈴木 倫保	脳神経外科学講座	910,000	補 委	国立大学法人九州大学
J-DREAMSコホートを利用した糖尿病患者の合併症進展に関する縦断研究	谷澤 幸生	病態制御内科学講座	800,000	補 委	国立研究開発法人国立国際医療研究センター
抗疲労効果の判定における酸化ストレスからの検証	野島 順三	基礎検査学講座	715,000	補 委	国立研究開発法人理化学研究所
既存の診療情報と一体的に運用可能な症例システムの構築とアウトカム指標等の分析・利活用に関する研究	石田 博	医療情報判断学講座	135,815,000	補 委	国立研究開発法人日本医療研究開発機構
創薬を目指したエピジェネティクス制御の分子技術	内田 周作	精神科神経科	13,650,000	補 委	国立研究開発法人科学技術振興機構
「サラシア属植物から抽出した天然植物エキス」の生理機能解析及び特定保健用食品申請の準備試験	小林 誠	分子細胞生理学講座	6,633,360	補 委	株式会社タカマ

小計 24

めまい診療用次世代フレンツェル眼鏡と眼球運動解析システムの開発と実用化	山下　裕司	耳鼻咽喉科学講座	540,000	補 委	株式会社YOODS
個別化医療に有用な遺伝子体外診断薬システムの研究開発	永野　浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	25,420,000	補 委	東洋鋼鈑株式会社
神経疾患における免疫病態の解明と治療法開発に関する研究	神田　隆	神経内科学講座	500,000	補 委	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
新吻合法による安全・確実な細径管吻合を実現する吻合補助器の開発と実用化	坂本　和彦	消化器・腫瘍外科学講座	1,080,000	補 委	株式会社ミヤハラ
予防医学に基づく機能性魚肉練り製品の開発と世界展開	川野　伶緒	臨床研究センター	1,950,000	補 委	マルハニチロ株式会社
卵巣顆粒膜細胞の黄体化に伴う遺伝子発現制御機構の解明	杉野　法広	産科婦人科学講座	1,000,000	補 委	美祢市
うつ病患者における非コードRNA発現量を指標とした疾患バイオマーカの確立	渡邉　義文	高次脳機能病態学講座	500,000	補 委	美祢市
口唇口蓋裂患者の臨床統計調査	上山　吉哉	歯科口腔外科学講座	500,000	補 委	美祢市
健康寿命の延伸を目指した次世代医療橋渡し研究支援拠点	林田　直樹	医化学講座	1,000,000	補 委	国立大学法人岡山大学
再生医療による難治性皮膚潰瘍治療法の開発および培養システムの確立	濱野　公一	器官病態外科学講座	19,000,000	補 委	山口県
医療・健康分野における水素応用技術開発	松本　美志也	麻酔・蘇生学講座	14,155,000	補 委	山口県
省電力デバイスによる包括的在宅・訪問医療、看護向け電子聴診解析システムの研究開発と事業化	松永　和人	呼吸器・感染症内科学講座	1,500,000	補 委	山口県
再生医療研究開発拠点機能強化事業	坂井田　功	消化器内科学講座	30,000,000	補 委	山口県
ミトコンドリアシグナルによる熱ショック応答の制御機構	中井　彰	医化学講座	5,850,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
末梢臓器における概日リズムの変調と代謝調節障害	谷澤　幸生	病態制御内科学講座	5,460,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
次世代型の分子・神経ネットワーク基盤解析によるうつ病の病態解明	渡邉　義文	高次脳機能病態学講座	5,980,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
下肢虚血性潰瘍に対する低酸素刺激を加えた細胞シートによる治療法の開発	濱野　公一	器官病態外科学講座	6,240,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
遺伝子改変マウスにおけるSTB/HAP1の中心体関連分子局在制御と神経細胞保護	篠田　晃	神経解剖学講座	11,830,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ストレス回避学習による海馬シナプスの多様化と情報量解析	美津島　大	神経生理学講座	12,090,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
難治性消化器癌に対する次世代型鉄キレート剤治療の確立	山崎　隆弘	臨床検査・腫瘍学講座	5,460,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
マクロファージ機能の選択的制御による新たな大動脈瘤退縮治療法の開発	吉村　耕一	器官病態外科学講座	5,850,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
温度生物学を基盤とした新規神経治療パラダイムの創成	野村　貞宏	脳神経外科学講座	6,500,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
快刺激を用いた介入による高齢者の睡眠改善およびせん妄予防効果	堤　雅恵	地域・老年看護学講座	2,860,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体構造安定化による心不全・心肥大・致死的不整脈の包括的治療戦略	矢野　雅文	器官病態内科学講座	3,510,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
免疫チェックポイント阻害療法のさらなる効果向上を目指した基盤的がん免疫研究	玉田　耕治	免疫学講座	11,700,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臨床検査値調和化ネットワークの構築と大規模症例集積によるEBLM実践環境の創出	市原　清志	病態検査学講座	10,140,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
てんかん病態ダイナミクスの多面的計測による理解と局所脳冷却による制御	鈴木　倫保	脳神経外科学講座	45,970,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計　27

集中治療におけるベッド上ペダリング運動による呼吸機能・下肢筋力・意欲への効果	佐伯　京子	臨床看護学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
精神障害者に対する地域の許容を阻む要因と促進する要因の解明	磯村　聰子	地域・老年看護学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重力に抗した3D臓器形成機構の解析	清木　誠	システムズ再生・病態医化学講座	5,200,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
微小重力環境における宿主-病原体の相互作用変化をもたらす分子基盤の解明	白井　睦訓	ゲノム・機能分子解析学講座	3,120,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
改訂版CNS－FACE家族アセスメントツールと家族介入モデルの開発	山勢　博彰	臨床看護学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
多戦略治療と診断の一体化を可能とするマルチ・セラノステックナノ粒子の創製	中村　教泰	器官解剖学講座	152,512	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
潰瘍性大腸炎の安全な寛解維持療法に対する漢方薬の有効性	橋本　真一	第一内科	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
認知症高齢者のエイジング・イン・プレイスを果たす地域密着型事業所での看取りの実践	永田　千鶴	地域・老年看護学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肥満者の炎症性腸疾患を寛解させる脂肪酸の同定と便検査法の開発	徳田　信子	基礎検査学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
情動による記憶形成機構	石川　淳子	神経生理学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
スフェロイド培養法と病理組織学の対比から迫る膠芽腫の腫瘍内微小環境の病態	木村　徳宏	病理形態学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
時計遺伝子DBP/E4BP4を介した膵β細胞による糖代謝制御機構	太田　康晴	寄附講座（分子代謝制御学講座）	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
日本人由来株を用いた高感度ELISA法による猫ひっかき病特異抗体の検出と病態解析	常岡　英弘	病態検査学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
活性化血小板マイクロパーティクル特異的高感度定量法の開発と血栓形成促進作用の解明	岡野　こずえ	病態検査学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨髄移植後合併症の新規予防法開発：新しいバイオマーカーとしての免疫抑制因子	髙橋　秀和	公衆衛生学・予防医学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
振動は血管を収縮するか？-25年前の凍結血漿の分析と急性振動負荷実験から-	原田　規章	山口大学	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脱メチル化剤を用いたEBウイルス関連胃癌特異的治療の検討	西川　潤	基礎検査学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高機能培養骨髄間葉系幹細胞による高効率な実践的肝臓再生療法の開発研究	高見　太郎	消化器内科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
劇症型急性肺炎の発症メカニズムの解明と治療ターゲット分子の探索	長谷川　明洋	ゲノム・機能分子解析学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液脳関門を介した脳内Aβ除去システムの構築	佐野　泰照	神経内科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
白血病発症に関与する時計遺伝子の解明と革新的治療の開発	湯尻　俊昭	病態制御内科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
喘息とCOPDのオーバーラップ症候群：分子生化学的アプローチによる病態生理の解明	松永　和人	呼吸器・感染症内科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
門脈圧亢進症に対するIVR治療と自己骨髄細胞投与療法による新規肝再生療法の開発	石川　剛	消化器内科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
サイトカイン遺伝子多型に基づいた化学療法副作用の予測システムの開発	坂本　和彦	消化器・腫瘍外科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
c-MYC HIF-1による大腸癌の抗癌剤抵抗性獲得機構の解明	榎　忠彦	器官病態外科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
てんかん発作発現前の生理的脳内ネットワークの変調に基づいた発作予知理論の実証	丸田　雄一	脳神経外科学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
間葉上皮転換の誘導による子宮肉腫の新規治療法の開発	村上　明弘	産科婦人科学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計　27

サイトメガロウイルス角膜内皮炎の発症機序に対する免疫学的機能解析	山田　直之	眼科	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
組織損傷時に放出される細胞内タンパク質群の 細胞外機能 と単球表面への結合機序	泉　友則	消化器内科学講座	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
再発・転移口腔癌症例に対する新規治療戦略の開発ー天寿癌を目指してー	上山　吉哉	歯科口腔外科学講座	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Using Q-methodology to establish the Health Beliefs of Japanese Australian and Thai nurses	STONE TERESA ELIZABETH	基礎看護学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
先天異常児をもつ妊婦・家族の意思決定支援ー事例検討による教育プログラムの開発ー	村上　京子	母子看護学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
発達期の運動技能の向上が認知機能に及ぼす効果	木田　裕之	神経生理学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
細胞死抑制の鍵分子としてHAP1に注目した老化と脳領域特異的神経変性の関連解明	藤永　竜太郎	神経解剖学講座	1,820,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心筋細胞内への特異的薬物送達システムの開発と心疾患治療への応用	本田　健	薬理学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液脳関門機能の膜型メタロプロテアーゼによる制御機構の解析	池田　栄二	病理形態学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗リン脂質抗体症候群の検査診断ガイドラインの作成と病態発症機序の解明	野島　順三	基礎検査学講座	2,080,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨髄由来肝臓修復細胞の同定	山本　直樹	大学教育機構保健管理センター	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
リアノジン受容体分子内シグナル伝達のキードメインを標的とした新しい不整脈治療	山本　健	病態検査学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
宿主アポトソームと病原体のクロストークの解明による感染制御の新秩序の探索	白井　睦訓	ゲノム・機能分子解析学講座	1,560,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
亜急性硬化性全脳炎の病態解明とバイオマーカーの確立	長谷川　俊史	小児科学講座	1,950,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
うつ病の生物学的鑑別診断補助検査法の開発	松尾　幸治	高次脳機能病態学講座	2,210,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
超高線量率動体追跡照射の新規導入を目指した次世代型4次元放射線治療計画法の開発	澁谷　景子	放射線腫瘍学講座	1,430,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
形質転換と階層的複製能よりみた治療抵抗性肝癌に対する個別化治療についての研究	永野　浩昭	消化器・腫瘍外科学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臨床応用に向けた重症心不全治療に対する骨髄細胞シートの新規治療戦略の構築	白澤　文吾	医学教育学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
機能賦活化した心筋幹細胞シートによる重症心不全治療	美甘　章仁	器官病態外科学講座	1,170,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管成熟化に着目した重度末梢血管障害に対する新規細胞移植療法の開発	細山　徹	附属再生医療教育研究センター	2,080,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
in vivoモデルを用いた子宮筋腫の発生に関与するマスター遺伝子の特定	佐藤　俊	産科婦人科学講座	2,080,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
メタボリック症候群における難聴と血管障害の関係について	山下　裕司	耳鼻咽喉科学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
9軸センサによる頭位モニタリングと次世代VOGによる眼振の解析	橋本　誠	耳鼻咽喉科	1,040,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症患者の睡眠評価を通じての炎症-せん妄-睡眠の連関	鶴田　良介	救急・総合診療医学講座	910,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
水素吸入療法を軸とした新たな頭部外傷の治療法の確立	藤田　基	救急・総合診療医学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症熱中症に対する水素を用いた新たな治療戦略	小田　泰崇	救急・総合診療医学講座	1,690,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
mTOR阻害に着目した老化防止と健康寿命延長につながる新規口腔癌治療法の開発	原田　耕志	歯科口腔外科学講座	1,300,000	補 委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計　27

インシリコとモノをつなぐ汎用的双方向シミュレーションフレームワーク開発と実証研究	浅井　義之	システムバイオインフォマティクス講座	1,291,931	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ヘテロ機能化セラノスティクス・ナノ粒子の腫瘍組織へのアクティブ・インベージョン	中村　教泰	器官解剖学講座	1,560,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
免疫チェックポイント機構の制御能力を有する新規CAR-T細胞療法の開発	佐古田　幸美	免疫学講座	1,820,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
DNA損傷刺激によるHSF1-PARP複合体の転写制御とDNA修復機構の解明	藤本　充章	医化学講座	1,950,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管平滑筋異常収縮シグナル伝達においてカルパインと細胞骨格が果たす役割の解明	岸　博子	分子細胞生理学講座	2,860,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
三次元器官の構築と維持を司るHippo-Yapシグナル伝達系の解析	淺岡　洋一	ゲノム・機能分子解析学講座	2,860,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
進化的アプローチとプロテオーム解析を基盤とした熱ショック応答機構の解明	瀧井　良祐	医化学講座	1,820,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
個別化医療への応用を目指したインターフェロンγの腫瘍細胞増殖抑制効果に関する研究	近藤　智子	分子病理学講座	2,340,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
フローサイトメトリー解析による赤血球結合IgG定量法の開発	山城　安啓	病態検査学講座	1,690,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
超高感度メチル化解析法を用いた便DNA検査による大腸腫瘍スクリーニング精度の検証	末廣　寛	臨床検査・腫瘍学講座	1,820,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Changes in tactile perception peripheral circulation and blood biomarkers induced by controlled vibration exposure in elderly Japanese	HOSSAIN MAHBUB	公衆衛生学・予防医学講座	1,820,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
皮膚三次元モデルを用いた尋常性乾癬におけるHippo-Yes-YAP経路の解明	古元　礼子	システムズ再生・病態医化学講座	2,340,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
再発予防を目的としたneurofeedbackと情動調整によるうつ病治療法の開発	松原　敏郎	大学教育機構保健管理センター	910,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝細胞癌転移抑制に向けた、癌幹細胞特性を示す独自誘導Shere細胞の標的分子解析	恒富　亮一	消化器・腫瘍外科学講座	1,690,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Neurovascular Unitの温度応答からみた脳低温による脳保護機構	松井　智浩	病態検査学講座	1,430,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
シナプス内外のNMDA受容体シグナル伝達機構の違いに注目した新たな脊髄保護戦略	松本　美志也	麻酔・蘇生学講座	1,430,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
体内細胞毒性アルデヒド、アクロレインが心臓術後高次脳機能障害に与える影響	石田　和慶	麻酔・蘇生学講座	1,560,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
メラトニンは卵胞閉鎖を抑制して発育卵胞数、排卵数を増加させる	田村　博史	産科婦人科学講座	2,600,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳死下臓器提供における家族看護ケア指針の開発	山本　小奈実	臨床看護学講座	1,040,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
終末期がん患者のスピリチュアルペインに向き合う看護師の臨床推論と介入モデルの特徴	田中　愛子	基礎看護学講座	650,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
既婚男女の家族計画支援方法確立に向けた基礎的研究	亀崎　明子	母子看護学講座	2,340,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
噛みごたえのある固形食物を用いた高齢者の咀嚼・嚥下機能維持・改善プログラムの開発	河村　敦子	地域・老年看護学講座	3,120,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ファミリー・バイオレンス予防のための地域参加型育児支援システムの開発	藤村　一美	地域・老年看護学講座	1,300,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がん微小環境中にリンパ組織様構造の形成を誘導する新規細胞免疫療法の開発	安達　圭志	免疫学講座	1,040,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗リン脂質抗体症候群の新たな検査診断法の確立と病態発症機序の解明	本木　由香里	基礎検査学講座	1,170,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高血圧者の長期飲酒とアルコール性肝障害進展における交感神経系の関連性の検討	白鳥　彩子	法医学講座	650,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ライブイメージング技術を用いた細菌性髄膜炎ワクチン効果の解明	荻野　英賢	ゲノム・機能分子解析学講座	1,690,000	(補)委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計　27

人工呼吸器患者におけるVAPケアアプリの開発とVAP予防効果及び看護ケアへの影響	田戸　朝美	臨床看護学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
稀少な染色体異常症を対象とした看護支援プラン構築に関する研究	沓脱　小枝子	母子看護学講座	780,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小規模高齢化集落における健康寿命をエンドポイントにした前向きコホート研究	長谷　亮佑	公衆衛生学・予防医学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血管病発症におけるシグナル伝達機構の解明および分子標的治療法の探索	張　影	分子細胞生理学講座	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臨床応用を目的とした新規心不全治療薬、ホスホランバンアプタマーの開発	酒井　大樹	薬理学講座	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腫瘍壊死が引き起こす栄養シグナル・浸透圧シグナルに着目したヒト膠芽腫の病態	石井　文彩	病理形態学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肝星細胞のエネルギー代謝に着目した肝硬変抑制法の開発	岩本　拓也	消化器内科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脊髄虚血再灌流障害を軽減させる細胞外microRNAの探索	上野　耕司	第一外科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
超高線量率四次元動体追跡照射の高精度化に向けた新しい品質管理法の開発	椎木　健裕	放射線腫瘍学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵β細胞脱分化機構解明に基づく糖尿病治療の研究	椎木　幾久子	寄附講座（分子代謝制御学講座）	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
精神保健福祉士の職業性ストレス尺度の開発と職業性ストレス評価	矢田　浩紀	臨床看護学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
エピソード記憶の符号化が早い海馬CA1シナプス可塑性を引き起こす	﨑本　裕也	神経生理学講座	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
がん選択的化学療法の実現を目指した細胞内滞留型プロドラッグの開発	堂浦　智裕	器官解剖学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
川崎病患児におけるビタミンD欠乏；治療応用への発展	鈴木　康夫	小児科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
四肢虚血リモートプレコンディショニングと酸化ストレス，フリーラジカルの関与	山下　理	麻酔・蘇生学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脱落膜化における転写因子C/EBPβのmiRNAを介した遺伝子発現制御機構の解明	城﨑　幸介	産科婦人科学講座	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
網膜変性モデルにおける視細胞と血管障害の相関とその分子機序解明	折田　朋子	眼科学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小児悪性腫瘍の新規治療法の開発：ユーイング肉腫癌遺伝子不活性化タンパク質の同定	北川　孝雄	システムズ再生・病態医化学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
臨床実用化に直結したマクロファージ制御剤を用いた新規肝線維溶解療法の開発	松本　俊彦	臨床検査・腫瘍学講座	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
看護職を目指す発達障害学生への修学・キャリア支援策の開発と連携体制の構築	戸部　郁代	母子看護学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
血液神経関門を構成するペリサイトを標的とした末梢神経内部環境改変の試み	神田　隆	神経内科学講座	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
炎症性腹部大動脈瘤の病因解明への新たな挑戦	吉村　耕一	器官病態外科学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
タイムスタディによる保健師の地域診断業務量と困難性の解明	守田　孝恵	地域・老年看護学講座	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
大規模催事における気候・呼吸変動を相加した心肺停止事故のリスク予知の研究	中村　浩士	病理形態学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
イメージサイトメトリーを用いたコピー数多型解析のための細胞調整法の開発	佐々木　功典	山口大学	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ペットネコとの接触による猫ひっかき病のワクチン開発	大津山　賢一郎	病態検査学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
微小血管病態に基づく抗MAG抗体関連ニューロパチーの新規治療法の探索	前田　敏彦	医療人育成センター	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計　27

次世代型心不全治療法の開発へ向けたゲノム編集による老化心筋幹細胞の若返り	濱野　公一	器官病態外科学講座	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
組織メカニクスを制御する分子ネットワーク動態解析システムの樹立	清木　誠	システムズ再生・病態医化学講座	3,640,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
皮膚創傷治癒促進作用を有する環状ペプチドの作用機序解明とその応用	乾　誠	薬理学講座	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
腫瘍増大モデルに基づいた癌の定期スクリーニング検査の有効性・費用対効果の検討	石田　博	医療情報判断学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
心筋細胞内カルモジュリン制御による心肥大退縮の試み	矢野　雅文	器官病態内科学講座	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
脳神経系疾患に潜む皮質拡延性抑制の局所脳冷却による制御	鈴木　倫保	脳神経外科学講座	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
PEG10をターゲットとした抗がん剤耐性膀胱癌及び膀胱小細胞癌の新規治療法の開発	川井　禎久	泌尿器科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
進行期多発性硬化症の診断マーカー・新規治療戦略の開発：血液脳関門に着目して	西原　秀昭	神経内科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
CBRIを標的とした子宮肉腫の新たな治療薬の開発	梶邑　匠彌	産科婦人科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
3D光干渉断層法を用いた冠動脈分岐部ステント治療の問題解明と新たな治療器具の開発	岡村　誉之	第二内科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
dual-energy法を用いた肺血栓塞栓症の容積評価におよぼす閾値の影響評価	國弘　佳枝	放射線科	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
バイオマーカーによる胃癌化学療法の効果予測―SPARCの発現および多型による検討	吉野　茂文	腫瘍センター	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
小腸再生伸長術の前臨床研究	上野　富雄	消化器・腫瘍外科学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
骨髄細胞シートの難治性下肢虚血潰瘍治療への応用	村上　雅憲	第一外科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
遠隔臓器虚血プレコンディショニングによる脊髄虚血耐性効果の臨床的検討	髙橋　雅弥	第一外科	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
低酸素プレコンディショニングとApelinの相乗効果による細胞移植治療の向上	末廣　晃太郎	先進救急医療センター	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肋間・腰動脈結紮による脊椎周囲組織の側副血行発達と新たな脊髄虚血保護戦略の研究	山下　敦生	手術部	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮筋腫の発生・進展に関与する分子の特定－in vivo筋腫形成モデルの確立－	浅田　裕美	総合周産期母子医療センター	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
いびきの音響解析と立体モデルによる睡眠呼吸障害患者の上気道閉塞部位診断法の確立	原　浩貴	耳鼻咽喉科学講座	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
核内受容体を含む転写コンプレックス制御による網膜下瘢痕形成抑制の新規治療薬開発	木村　和博	眼科学講座	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
温度・電気・薬物の各ニューロモデュレーションによるてんかん発作抑制効果の比較研究	井上　貴雄	脳神経外科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
インフルエンザ桿菌感染後ギラン・バレー症候群の臨床像と病態機構の解明	古賀　道明	神経内科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ダントロレンによるリアノジン受容体を分子標的とした心不全・不整脈治療の臨床応用	小林　茂樹	器官病態内科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
Txnipとp53を介した膵β細胞翻訳制御機構解明に基づく2型糖尿病治療の研究	幡中　雅行	総合診療部	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ストレス脆弱性の形成機序の解明とその分子基盤を標的とした抗ストレス薬の開発	内田　周作	精神科神経科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
CT enteroclysisを用いた小腸血管病変の画像構築	清水　建策	放射線科	260,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
乳癌画像診断におけるMRI PET検査至適撮像法・検査法の確立を目指して	古川　又一	放射線科	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業

小計　27

Diamine Oxidase(DAO)の遺伝子多型と化学療法の消化管毒性	武田　茂	手術部	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
肺切除後の代償性肺成長が癌進展に及ぼす影響とその機序の解明	上田　和弘	第一外科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
体外高周波振動による脳塞栓再開通補助療法の開発	石原　秀行	脳神経外科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
脊髄損傷後の急性期ニューロリハビリテーションの確立に向けた実験的研究	寒竹　司	整形外科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
無精子症に対する新規薬物療法確立のためのヒト精巣の網羅的遺伝子解析	白石　晃司	泌尿器科	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
子宮頸癌で低下する新規癌抑制分子Crystallinに対する分子標的治療の開発	末岡　幸太郎	総合周産期母子医療センター	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
新しいRNA干渉法を用いた内耳感覚上皮の発現遺伝子の検討	菅原　一真	耳鼻咽喉科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
CYP代謝産物による眼内慢性炎症疾患の制御メカニズムの解明と治療法の開発	柳井　亮二	眼科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
結膜線維増殖反応における潜在的アレルギー炎症の関与	寺西　慎一郎	眼科学講座	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
口腔扁平上皮癌におけるMYEOV遺伝子の機能解析	内田　堅一郎	歯科口腔外科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
非肺静脈/上大静脈起源持続性心房細動に対する新たなup stream治療の構築	吉賀　康裕	第二内科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
カルモジュリンの心筋細胞内動態を標的とした新しい心肥大、心不全抑制治療法の探査	小田　哲郎	第二内科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
COPDの身体活動性障害における末梢気道由来窒素化ストレスの役割と制御機構の探索	平野　綱彦	呼吸器・感染症内科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
膵β細胞脱分化・運命転換の成因解明に基づいた糖尿病治療の研究	田部　勝也	第三内科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
新生児血栓症における血小板―好中球凝集体とMMP-9の関連性の解析	楠田　剛	総合周産期母子医療センター	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
うつ病マーカーとなる糖タンパク質の同定とマウス脳内における機能解析	山形　弘隆	精神科神経科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
他家線維芽細胞シートを用いた難治性皮膚潰瘍に対する再生医療法の開発	鈴木　亮	第一外科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
軽症頭部外傷における器質的損傷と機能的予後予測への血清バイオマーカーの応用	末廣　栄一	先進救急医療センター	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
去勢抵抗性前立腺癌における神経内分泌癌への進展機序と薬剤選択マーカーの開発	松本　洋明	泌尿器科	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
遺伝子転写制御ネットワーク解析で見出したマスター遺伝子による子宮内膜症細胞の誘導	前川　亮	産科婦人科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
ゼブラフィッシュ側線器有毛細胞シナプス障害モデルを用いた薬物のスクリーニング	廣瀬　敬信	耳鼻咽喉科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
失明疾患モデルにおけるグルタミン酸を用いた内在性幹細胞誘導による網膜再生法の確立	徳田　和央	眼科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
反復性軽度頭部外傷の悪化メカニズムの解明と治療法の検討	宮内　崇	先進救急医療センター	650,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
新型インフルエンザは気管支喘息の発症因子か？	松重　武志	小児科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
メラノーマの増殖、浸潤、転移におけるHSF1のターゲット遺伝子の同定と機能解析	中村　好貴	皮膚科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
乳癌におけるGalectin-9/Tim-3の発現と臨床病理学的因子の検討	前田　訓子	第二外科	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	
Cetuximab加療後大腸癌のNGSを用いた腫瘍浸潤リンパ球のTCR解析	井上　由佳	第二外科	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業	小計　27

Cardiosphere由来細胞シートは陳旧性心筋梗塞治療に有効か？	藏澄　宏之	第一外科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
間葉系幹細胞シートを利用した分泌因子のパラクライン効果による術後肺再生への挑戦	村上　順一	第一外科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症頭部外傷に対する局所脳冷却を用いた急性期治療法の開発	奥　高行	脳神経外科	1,820,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
有限要素法を用いた脊髄症の病態解明と臨床への応用	西田　周泰	整形外科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
子宮内膜間質細胞の脱落膜化によって活性化されるグルコース代謝の生物学的意義の解明	竹谷　俊明	産科婦人科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
顆粒膜細胞の黄体化に伴うCyp11a1遺伝子発現に関するエピジェネティクス制御	岡田　真紀	総合周産期母子医療センター	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
コラーゲン線維配列解析を基軸とした角膜透明性治癒機構の解明	守田　裕希子	眼科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
足場依存性喪失に関わる因子の機能解析による口腔癌悪性化の新規予測因子の開発	竹縄　隆徳	歯科口腔外科	1,430,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
舌筋由来幹細胞とbioactive scaffoldを用いた新規骨再生法の開発	梅田　浩嗣	歯科口腔外科	1,040,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
高発現遺伝子と低発現遺伝子を組合せた大腸癌の新規腫瘍マーカーの確立	西岡　光昭	検査部	1,560,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
肺動脈性肺高血圧患者の右心不全を予防することで予後を改善させる新しい治療法の開発	大野　誠	第二内科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
In vitroモデルによる自己免疫性中枢・末梢神経疾患の炎症細胞浸潤機構の解明	竹下　幸男	神経内科	2,340,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
NASH、NASH発癌における非侵襲的検査による早期診断の確立	日高　勲	肝疾患センター	1,170,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
膵癌術後再発予防のための新規治療の開発 -癌幹細胞マーカーDclk1に注目して-	竹本　圭宏	第一外科	2,210,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
重症虚血肢克服を目指したアペリン併用血管再生治療 -老齢細胞を用いた検討-	佐村　誠	第一外科	1,690,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
くも膜下出血後早期脳損傷および遅発性脳虚血への選択的ROCK2阻害薬による治療	岡　史朗	脳神経外科	2,470,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
ゲノム編集技術を用いた子宮内膜脱落膜化に関与する新規エンハンサー領域の解析	田村　功	総合周産期母子医療センター	3,120,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
卵巣顆粒膜細胞の黄体化に伴うVEGF遺伝子発現のエピジェネティクス制御	澁谷　文恵	総合周産期母子医療センター	2,080,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
有熱性のけいれん性疾患における平温療法の有効性	星出　まどか	小児科	1,300,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
頭部外傷後脳神経細胞アポトーシスにおける小胞体カルシウムイオンチャネルの関与	戸谷　昌樹	先進救急医療センター	910,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
抗癌剤耐性口腔扁平上皮癌細胞に対する免疫チェックポイント阻害剤併用療法の開発	FERDOUS TARANNUM	歯科口腔外科	1,950,000	補委	日本学術振興会 科学研究費助成事業
四次元動体追跡治療のための新型動体追跡装置による透視被ばく線量計算システムの開発	椎木　健裕	放射線腫瘍学講座	1,000,000	補委	公益財団法人がん研究振興財団
核内受容体制御による網膜下瘢痕形成抑制の新規治療薬開発	木村　和博	眼科学講座	1,000,000	補委	公益財団法人高齢者眼疾患研究財団
新生児・乳児消化管アレルギーの病態解明および診断方法の確立	長谷川　俊史	小児科学講座	1,500,000	補委	公益財団法人川野小児医学奨学財団
YAPの臓器再生能を利用した再生医療へ向けてのYAP組織メカニクス制御機構の解明	清木　誠	システムズ再生・病態医化学講座	1,000,000	補委	公益財団法人宇部興産学術振興財団
精神障害者に対する地域の許容を阻む要因と促進する要因の解明	磯村　聰子	地域・老年看護学講座	170,000	補委	公益財団法人山口大学後援財団
心臓特異的に細胞内部へ薬物を導入するための新たな分子標的型薬物送達システムの開発と心不全治療への応用	本田　健	薬理学講座	180,000	補委	公益財団法人山口大学後援財団

小計　27

難治性喘息において気管支温熱療法(Bronchial thermoplasty:BT)が及ぼす未知の作用因子について探求する	枝國　信貴	呼吸器・感染症内科	180,000	補 委	公益財団法人山口大学後援財団	
上部尿路感染症による腎瘢痕形成の発症機序および予防法の検討	太田　直樹	小児科	450,000	補 委	公益財団法人森永奉仕会	
Wfs1欠損によるβ細胞機能障害とインクレチンの効果に関する研究	椎木　幾久子	寄附講座(分子代謝制御学講座)	650,000	補 委	公益財団法人日本応用酵素協会	
記憶固定化を促進させる新たなエピジェネティクス制御機構の解明	内田　周作	精神科神経科	3,000,000	補 委	公益財団法人内藤記念科学振興財団	
便潜血検査と組み合わせることにより大腸腫瘍スクリーニング精度向上を実現する便DNA検査法の開発	末廣　寛	臨床検査・腫瘍学講座	1,000,000	補 委	公益財団法人黒住医学研究振興財団	
噛みごたえのある固形食物を用いた高齢者の咀嚼・嚥下機能維持・改善プログラムの開発	河村　敦子	地域・老年看護学講座	1,875,000	補 委	公益財団法人浦上食品・食文化振興財団	
抗うつ薬反応性に着目したうつ病のエピジェネティック治療法の開発	内田　周作	精神科神経科	1,000,000	補 委	公益財団法人かなえ医薬振興財団	
HSF1によるDNAの恒常性維持機構の解明	中井　彰	医化学講座	5,000,000	補 委	公益財団法人上原記念生命科学財団	
細胞シートを用いた難治性皮膚治療に対する細胞移植	上野　耕司	第一外科	2,000,000	補 委	公益財団法人上原記念生命科学財団	
新規糖尿病治療標的の創出を目指した膵β細胞脱分化機構解明に関する研究	椎木　幾久子	寄附講座(分子代謝制御学講座)	1,000,000	補 委	公益財団法人MSD生命科学財団	
成長期卓球選手の傷害調査と予防活動	小笠　博義	リハビリテーション部	310,000	補 委	公益財団法人日本卓球協会	小計　11
						合計　251

(注) 1　国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申 請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3　「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Sasaki S., Nishikawa J., Hashimoto S., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Systemic AL Amyloidosis with Colonic Submucosal Hematoma	Internal Medicine,2017 Mar; 56(6),741-742	Original Article
2	Goto A, Nishikawa J, Okamoto T, et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Eosinophilic Gastroenteritis Presenting with Red Streaking.	Internal Medicine,2017 Mar; 56(6),571-572	Original Article
3	Fujisawa K, Takami T, Fukui Y, et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Evaluating effects of L-carnitine on human bone-marrow-derived mesenchymal stem cells.	Cell Tissue Res.,2017 Feb; 368(2),301-310	Original Article
4	Sakaida I., Terai S., Nakajima K., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Predictive factors of the pharmacological action of tolvaptan in patients with liver cirrhosis: a post hoc analysis	Journal of Gastroenterology,2017 Feb; 52(2),pp.229-236	Original Article
5	Uekitani T., Kaino S., Harima H., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Efficacy of contrast-enhanced harmonic endoscopic ultrasonography in the diagnosis of pancreatic ductal carcinoma	Saudi Journal of Gastroenterology,2016 May; 22(3),pp.198-202	Original Article
6	Goto A., Okamoto T., Matsumoto M., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Chronological endoscopic and pathological observations in russell body duodenitis	Clinical Endoscopy,2016 Jun; 49(4),pp.387-390	Original Article

小計6件

7	Sasaki S., Nishikawa J., Yanai H., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Image quality of a novel light-emitting diode (LED)-illuminated colonoscope	Endoscopy,2016 Oct; 48(10),pp.934-938	Original Article
8	Takami T, Yamasaki T, Saeki I, et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Supportive therapies for prevention of hepatocellular carcinoma recurrence and preservation of liver function.	World J Gastroenterol. ,2016 Aug; 22(32),7252-63	Original Article
9	Harima H., Kaino S., Takami T., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Deferasirox, a novel oral iron chelator, shows antiproliferative activity against pancreatic cancer in vitro and in vivo	BMC Cancer,2016 Aug; 16(1),article_id: 702	Original Article
10	Nagao M., Nishikawa J., Ogawa R., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Evaluation of the Diagnostic Ability of Optical Enhancement System in Early Gastric Cancer Demarcation	Gastroenterology Research and Practice,2016 Sep; 2016,article_id: 2439621	Original Article
11	Kaino S., Sen-yo M., Shinoda S., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Side-by-side placement of bilateral endoscopic metal stents for the treatment of postoperative biliary stricture	Clinical Journal of Gastroenterology,2017 Feb; 10(1),pp.68-72	Original Article
12	Iwamoto T., Maeda M., Hisanaga T., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Predictors of the effect of tolvaptan on the prognosis of cirrhosis	Internal Medicine,2016 Oct; 55(20),pp.2911-2916	Original Article
13	Saeki I., Yamamoto N., Yamasaki T., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Effects of an oral iron chelator, deferasirox, on advanced hepatocellular carcinoma	World Journal of Gastroenterology,2016 Oct; 22(40),pp.8967-8977	Original Article
14	Nakamura M., Nishikawa J., Saito M., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Decitabine inhibits tumor cell proliferation and up-regulates e-cadherin expression in Epstein-Barr virus-associated gastric cancer	Journal of Medical Virology,2016 Nov; 89(3),pp.508-517	Original Article

小計8件

15	Kawasato R., Hashimoto S., Shirasawa T., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Correlation between obesity and metabolic syndrome-related factors and cecal intubation time during colonoscopy	Clinical and Experimental Gastroenterology,2017 Jan; 10,pp.1-7	Original Article
16	Sakaida I., Terai S., Kurosaki M., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Effectiveness and safety of tolvaptan in liver cirrhosis patients with edema: Interim results of post-marketing surveillance of tolvaptan in liver cirrhosis (START study)	Hepatology Research,2016 Dec; ,	Original Article
17	Matsunaga T., Hashimoto S., Yamamoto N., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器内科学講座	Protective Effect of Daikenchuto on Dextran Sulfate Sodium-Induced Colitis in Mice	Gastroenterology Research and Practice,2017 Jan; 2017,article_id: 1298263	Original Article
18	Yoshiga Y., Shimizu A., Ueyama T., et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学講座	Successful cryoballoon pulmonary vein isolation in a patient with situs inversus and dextrocardia	Journal of Arrhythmia,2016 Dec; 32(6),pp.493-495	Original Article
19	Nakao F., Okamura T., Suetomi T., et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学講座	Differences of side branch jailing between left main-left anterior descending artery stenting and left main-left circumflex artery stenting with Nobori biolimus-eluting stent	Heart and Vessels,2016 Dec; 31(12),pp.1895-1903	Original Article
20	Myoren T., Kobayashi S., Oda S., et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学講座	An oxidative stress biomarker, urinary 8-hydroxy-2′ -deoxyguanosine, predicts cardiovascular-related death after steroid therapy for patients with active cardiac sarcoidosis	International Journal of Cardiology,2016 Jun; 212,pp.206-213	Original Article
21	Murakami W., Kobayashi S., Susa T., et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学講座	Recombinant atrial natriuretic peptide prevents aberrant Ca2+ leakage through the ryanodine receptor by suppressing mitochondrial reactive oxygen species production induced by isoproterenol in failing	PLoS ONE,2016 Sep; 11(9),article_id: e0163250	Original Article
22	Nawata T., Kubo M., Okuda S., et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学講座	Successful treatment with intravenous cyclophosphamide for anti-melanoma differentiation-associated gene 5 antibody-positive dermatomyositis associated with myelodysplastic syndrome	Scandinavian Journal of Rheumatology,2016 Dec; ,pp.1-3	Original Article

小計8件

23	Kato T., Yamamoto T., Nakamura Y., et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学講座	Correction of impaired calmodulin binding to RyR2 as a novel therapy for lethal arrhythmia in the pressure-overloaded heart failure	Heart Rhythm,2017 Jan; 14(1),pp.120-127	Original Article
24	Fujimura T., Okamura T., Ando M., et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学講座	In vitro assessment of six aspiration catheters using a distal protection filter	Cardiology Journal,2016 Oct; 23(6),pp.667-672	Original Article
25	Fumimoto T., Ueyama T., Shimizu A., et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学講座	Inferior J waves in patients with vasospastic angina might be a risk factor for ventricular fibrillation	Journal of Cardiology,2017 Jan; ,	Original Article
26	Takayuki Okamura, Tatsuhiro Fujimura, Masafumi Yano	山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学講座	Three-dimensional reconstruction of optical coherence tomography for improving bifurcation stenting	J Cardiol cases,2016 May; 13(5),137-138	Original Article
27	Yosuke Miyazaki, Takayuki Okamura, Akira Fujita, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学講座	「Coronary obstruction occurring 72h after transcatheter aortic valve replacement with a self-expandable valve」	Int J Cardiol,2016 Nov; 223,:1-3	Original Article
28	Tatsuhiro Fujimura, Takayuki Okamura, Miyuki Ando, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態内科学講座	「In vitro assessment of six aspiration catheters using a distal protection filter」	Cardiol J,2016 Sep; 23(6),667-672	Original Article
29	Nakamura Y., Tanaka Y., Tanaka M., et al	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学講座	Soluble interleukin-2 receptor index predicts the development of acute graft-versus-host disease after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation from unrelated donors	International Journal of Hematology,2016 Apr; 103(4),pp.436-443	Original Article
30	Sugiyama A., Yujiri T., Tanaka M., et al	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学講座	SIRT1 is downregulated during peripheral blood stem cell mobilization in healthy donorsby granulocyte-colony stimulating factor.	Ann Hematol.,2016 Jun; ,1381-1382	Original Article

小計8件

31	Tanabe K., Amo-Shiinoki K., Hatanaka M., et al	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学講座	Interorgan Crosstalk Contributing to β-Cell Dysfunction.	J Diabetes Res.,2016; ,	Original Article
32	Nishihara H., Shimizu F., Kitagawa T., et al	山口大学大学院医学系研究科神経内科学講座	Identification of galectin-3 as a possible antibody target for secondary progressive multiple sclerosis	Multiple Sclerosis,2017 Mar; 23(3),pp.382-394	Original Article
33	Takeshita Y, Omoto M, Fujikawa S, et al	山口大学大学院医学系研究科神経内科学講座	Immunohistochemical analysis of laminin components in blood-nerve barrier and blood-brain barrier	Clin Exp Neuroimmunol ,2017 Feb; 8,49-53	Original Article
34	Takeshita Y, Obermeier B, Cotleur AC, et al	山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座	Effects of Neuromyelitis optica (NMO)-IgG at the blood-brain barrier in vitro.	Neurology: Neuroimmunology & Neuroinflammation ,2016 Dec; 19,e311	Original Article
35	Matsunaga K., Hirano T., Oka A., et al	山口大学大学院医学系研究科呼吸器・感染症内科学講座	Persistently high exhaled nitric oxide and loss of lung function in controlled asthma	Allergology International,2016 Jul; 65(3),pp.266-271	Original Article
36	Abe-Higuchi N., Uchida S., Yamagata H., et al	山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座	Hippocampal Sirtuin 1 Signaling Mediates Depression-like Behavior	Biological Psychiatry,2016 Dec; 80(11),pp.815-826	Original Article
37	Harada K., Matsuo K., Nakashima M., et al	山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座	Disrupted orbitomedial prefrontal limbic network in individuals with later-life depression	Journal of Affective Disorders,2016 Nov; 204,pp.112-119	Original Article
38	Higuchi F., Uchida S., Yamagata H., et al	山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座	Hippocampal microRNA-124 enhances chronic stress resilience in mice	Journal of Neuroscience,2016 Jul; 36(27),pp.7253-7267	Original Article

小計8件

39	Matsubara T., Matsuo K., Harada K., et al	山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座	Distinct and shared endophenotypes of neural substrates in bipolar and major depressive disorders	PLoS ONE,2016 Dec; 11(12),article_id: e0168493	Original Article
40	Uchida S., Teubner B.J.W., Hevi C., et al	山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座	CRTC1 Nuclear Translocation Following Learning Modulates Memory Strength via Exchange of Chromatin Remodeling Complexes on the Fgf1 Gene	Cell Reports,2017 Jan; 18(2),pp.352-366	Original Article
41	Okada S., Azuma Y., Suzuki Y., et al	山口大学大学院医学系研究科小児科学講座	Adjunct cyclosporine therapy for refractory Kawasaki disease in a very young infant	Pediatrics International,2016 Apr; 58(4),pp.295-298	Original Article
42	Kibata T., Suzuki Y., Hasegawa S., et al	山口大学大学院医学系研究科小児科学講座	Coronary artery lesions and the increasing incidence of Kawasaki disease resistant to initial immunoglobulin	International Journal of Cardiology,2016 Jul; 214,pp.209-215	Original Article
43	Wakiguchi H., Takei S., Kawano Y.	山口大学大学院医学系研究科小児科学講座	Axillary Skin Ulcers in Infants with Juvenile Dermatomyositis	Pediatrics and Neonatology,2016 Sep; ,	Original Article
44	Yamada H., Ohta H., Hasegawa S., et al	山口大学大学院医学系研究科小児科学講座	Two infants with tuberculid associated with Kawasaki disease	Human Vaccines and Immunotherapeutics,2016 Nov; 12(11),pp.2772-2776	Original Article
45	Wakiguchi H., Takei S., Kubota T., et al	山口大学大学院医学系研究科小児科学講座	Treatable renal disease in children with silent lupus nephritis detected by baseline biopsy: association with serum C3 levels	Clinical Rheumatology,2017 Feb; 36(2),pp.433-437	Original Article
46	Narumi H., Hasegawa S., Waki K., et al	山口大学大学院医学系研究科小児科学講座	Non-androgen secreting adrenocortical carcinoma in preadolescence; a case report and literature review.	J Pediatr Endoclinol Metab. ,2016 Nov; 29(11),pp.1313-1317	Original Article

小計8件

47	Ichimura T, Yoshida K, Okuno Y, et al	山口大学大学院医学系研究科小児科学講座	Diagnostic challenge of Diamond-Blackfan anemia in mothers and children by whole-exome sequencing	Int J Hematol. ,2016 Nov; 105(4),pp. 515-520	Original Article
48	Fumiho Sano, Kazuhiro Ueda, Junichi Murakami, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Enhanced tumor growth in the remaining lung after major lung resection	Journal of Surgical Research,2016 May; 202(1),p.1-7	Original Article
49	Junichi Murakami, Kazuhiro Ueda, Masataro Hayashi, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Simultaneous stapling of the lobar bronchus and pulmonary artery: Is it actually dangerous?	Interactive Cardiovascular and Thoracic Surgery,2016 May; 22(5),p.671-673	Original Article
50	Yuya Tanaka, Bungo Shirasawa, Yuriko Takeuchi, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Autologous preconditioned mesenchymal stem cell sheets improve left ventricular function in a rabbit old myocardial infarction model	American Journal of Translational Research,2016 May; 8(5),p.2222-2233	Original Article
51	Koji Ueno, Yuriko Takeuchi, Makoto Samura, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Treatment of refractory cutaneous ulcers with mixed sheets consisting of peripheral blood mononuclear cells and fibroblasts	Scientific Reports,2016 Jun; 6,article_id: 28538	Original Article
52	Kotaro Suehiro, Noriyasu Morikage, Osamu Yamashita, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Distribution of Extracellular Fluid in Legs with Venous Edema and Lymphedema	Lymphatic Research and Biology,2016 Sep; 14(3),p.156-161	Original Article
53	Kotaro Suehiro, Noriyasu Morikage, Osamu Yamashita, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Risk Factors in Patients with Venous Stasis-Related Skin Lesions without Major Abnormalities on Duplex Ultrasonography	Annals of Vascular Diseases,2016 Sep; 9(3),p.201-204	Original Article
54	Junichi Murakami, Kazuhiro Ueda, Masataro Hayashi, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	The experimental validation of free fat grafts in thoracic surgery	Interactive CardioVascular and Thoracic Surgery,2016 Oct; 23(4),p.653-655	Original Article

小計8件

55	Masanori Murakami, Noriyasu Morikage, Osamu Yamashita, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Hybrid endovascular treatment for an asymptomatic Kommerell diverticulum at the right aortic arch	Journal of Vascular Surgery,2016 Nov; 64(5),p.1485	Original Article
56	Kotaro Suehiro, Noriyasu Morikage, Osamu Yamashita, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Skin and Subcutaneous Tissue Ultrasonography Features in Breast Cancer-Related Lymphedema	Annals of Vascular Diseases,2016 Dec; 9(4),p.312-316	Original Article
57	Kotaro Suehiro, Noriyasu Morikage, Osamu Yamashita, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Adherence to and efficacy of different compression methods for treating chronic venous insufficiency in the elderly	Phlebology,2016 Dec; 31(10),p.723-728	Original Article
58	Koji Ueno, Makoto Samura, Tamami Nakamura, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Increased plasma VEGF levels following ischemic preconditioning are associated with downregulation of miRNA-762 and miR-3072-5p	Scientific Reports,2016 Dec; 6,article_id: 36758	Original Article
59	Takasuke Harada, Koichi Yoshimura, Osamu Yamashita, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Focal adhesion kinase promotes the progression of aortic aneurysm by modulating macrophage behavior	Arteriosclerosis, Thrombosis, and Vascular Biology,2017 Jan; 37(1),p.156-165	Original Article
60	Kotaro Suehiro, Noriyasu Morikage, Osamu Yamashita, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Differentiation of functional venous insufficiency and leg lymphedema complicated by functional venous insufficiency using subcutaneous tissue ultrasonography	Journal of Vascular Surgery: Venous and Lymphatic Disorders,2017 Jan; 5(1),p.96-104	Original Article
61	Tamami Nakamura, Akihito Mikamo, Takayuki Okamura, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Mitral valve laceration: an unusual complication during transcatheter aortic valve replacement	European Journal of Cardio-Thoracic Surgery,2017 Jan; 51(1),p.189	Original Article
62	Yuya Tanaka, Tohru Hosoyama, Akihito Mikamo, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Hypoxic preconditioning of human cardiosphere-derived cell sheets enhances cellular functions via activation of the PI3K/Akt/mTOR/HIF-1 α pathway	American Journal of Translational Research,2017 Feb; 9(2),p.664-673	Original Article

小計8件

63	Makoto Samura, Tohru Hosoyama, Yuriko Takeuchi, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Therapeutic strategies for cell-based neovascularization in critical limb ischemia	Journal of Translational Medicine,2017 Feb; 15(1),article_id: 49	Original Article
64	Junichi Murakami, Kazuhiro Ueda, Masataro Hayashi, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Size-capacity mismatch in the lung: a novel predictor for complications after lung cancer surgery	Journal of Surgical Research,2017 Mar; 209,p.131-138	Original Article
65	Hiroshi Kurazumi, Akira Fujita, Tamami Nakamura, et al	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	Short- and long-term outcomes of intramyocardial implantation of autologous bone marrow-derived cells for the treatment of ischaemic heart disease	Interactive CardioVascular and Thoracic Surgery,2017 Mar; 24(3),p.329-334	Original Article
66	Suzuki N., Hazama S., Iguchi H., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	Phase II clinical trial of peptide cocktail therapy for patients with advanced pancreatic cancer: VENUS-PC study	Cancer Science,2017 Jan; 108(1),pp.73-80	Original Article
67	Yamamoto S., Suga K., Maeda K., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	Breast sentinel lymph node navigation with three-dimensional computed tomography-lymphography: a 12-year study	Breast Cancer,2016 May; 23(3),pp.456-462	Original Article
68	Yoshino S., Nishikawa K., Morita S., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	Randomised phase III study of S-1 alone versus S-1 plus lentinan for unresectable or recurrent gastric cancer (JFMC36-0701)	European Journal of Cancer,2016 Sep; 65,pp.164-171	Original Article
69	Kanekiyo S., Takeda S., Nakajima M., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	Efficacy and safety of biweekly docetaxel in combination with nedaplatin as second-line chemotherapy for unresectable or recurrent esophageal cancer	Anticancer Research,2016 Apr; 36(4),pp.1923-1927	Original Article
70	Hazama S., Maeda H., Iwamoto S., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	A Phase II Study of XELOX and Cetuximab as First-Line Therapy in Patients With KRAS Wild Type Metastatic Colorectal Cancer (FLEET2 Study)	Clinical Colorectal Cancer,2016 Dec; 15(4),pp.329-336	Original Article

小計8件

71	Tokumitsu Y, Nagano H	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	Current HCC Staging Systems : Their Uses and Limitations	Hepatocellular Carcinoma Diagnosis and Treatment Third Edition,2016 Dec; ,pp.425-442	Original Article
72	Kijima T., Hazama S., Tsunedomi R., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	MicroRNA-6826 and-6875 in plasma are valuable non-invasive biomarkers that predict the efficacy of vaccine treatment against metastatic colorectal cancer	Oncology Reports,2017 Jan; 37(1),pp.23-30	Original Article
73	Inoue Y., Hazama S., Suzuki N., et al	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	Cetuximab strongly enhances immune cell infiltration into liver metastatic sites in colorectal cancer	Cancer Science,2017 Mar; 108(3),pp.455-460	Original Article
74	Shindo Y, Hazama S, Suzuki N, et al	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	Predictive biomarkers for the efficacy of peptide vaccine treatment :based on the results of a phase II study on advanced pancreatic cancer	J Exp Clin Cancer Res.,2017 Feb; 36(1),pp.36	Original Article
75	Suetomi Y., Kanchiku T., Nishijima S., et al	山口大学大学院医学系研究科整形外科学講座	Application of diffusion tensor imaging for the diagnosis of segmental level of dysfunction in cervical spondylotic myelopathy	Spinal Cord,2016 May; 54(5),pp.390-395	Original Article
76	Funaba M., Kanchiku T., Imajo Y., et al	山口大学大学院医学系研究科整形外科学講座	Characteristics of C6-7 myelopathy: Assessment of clinical symptoms and electrophysiological findings	Spinal Cord,2016 Oct; 54(10),pp.798-803	Original Article
77	Funaba M., Kanchiku T., Imajo Y., et al	山口大学大学院医学系研究科整形外科学講座	Relation between distal motor latency delay and sensory action potential absence of the median nerve in carpal tunnel syndrome	Clinical Neurology and Neurosurgery,2016 Sep; 148,pp.45-48	Original Article
78	Imajo Y., Kanchiku T., Suzuki H., et al	山口大学大学院医学系研究科整形外科学講座	Effects of differences in age and body height on normal values of central motor conduction time determined by F-waves	Journal of Spinal Cord Medicine,2017 Mar; 40(2),pp.181-187	Original Article

小計8件

79	Nishida N., Kanchiku T., Imajo Y., et al	山口大学大学院医学系研究科整形外科学講座	A case of an anaplastic meningioma metastasizing to the mediastinal lymph nodes	Journal of Spinal Cord Medicine,2016 Jul; 39(4),pp.484-492	Original Article
80	Nishida N., Kanchiku T., Kato Y., et al	山口大学大学院医学系研究科整形外科学講座	Cervical ossification of the posterior longitudinal ligament: factors affecting the effect of posterior decompression	Journal of Spinal Cord Medicine,2017 Jan; 40(1),pp.93-99	Original Article
81	Nishida N., Kanchiku T., Imajo Y., et al	山口大学大学院医学系研究科整形外科学講座	Stress analysis of the cervical spinal cord: Impact of the morphology of spinal cord segments on stress	Journal of Spinal Cord Medicine,2016 May; 39(3),pp.327-334	Original Article
82	Suzuki H., Kanchiku T., Imajo Y., et al	山口大学大学院医学系研究科整形外科学講座	Diagnosis and characters of non-specific low back pain in Japan: The Yamaguchi low back pain study	PLoS ONE,2016 Aug; 11(8),article_id: e0160454	Original Article
83	Imajo Y., Kanchiku T., Suzuki H., et al	山口大学大学院医学系研究科整形外科学講座	Cauda Equina Conduction Time Determined by F-Waves in Normal Subjects and Patients with Neurogenic Intermittent Claudication Caused by Lumbar Spinal Stenosis	Journal of Clinical Neurophysiology,2017 Mar; 34(2),pp.132-138	Original Article
84	Kanchiku T., Imajo Y., Suzuki H., et al	山口大学大学院医学系研究科整形外科学講座	Correlation between spinal cord function assessed by Intraoperative SCEPs and morphology of the compressed spinal cord on MRI	Clinical Spine Surgery,2016 Dec; 29(10),pp.E496-E501	Original Article
85	Imajo Y., Taguchi T., Neo M., et al	山口大学大学院医学系研究科整形外科学講座	Complications of spinal surgery for elderly patients with lumbar spinal stenosis in a super-aging country: An analysis of 8033 patients	Journal of Orthopaedic Science,2017 Jan; 22(1),pp.10-15	Original Article
86	Imagama T., Tokushige A., Seki K., et al	山口大学大学院医学系研究科整形外科学講座	Weight bearing joints destruction in rheumatoid arthritis	Current Rheumatology Reviews,2016 Nov; 12(3),	Original Article

小計8件

87	Nakamura Y., Nakai A., Muto M.	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座	An Inveted review following the Soujinkai young Investigator Award: Heat Shock Factor 1 Could be a Promising New Therapeutic Target for Melanoma	The Bulletin of the Yamaguchi Medical School,2016 Jun; 63(1-2),pp.1-4	Original Article
88	Shiraishi K., Oka S., Matsuyama H.	山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学講座	Surgical comparison of subinguinal and high inguinal microsurgical varicocelectomy for adolescent varicocele	International Journal of Urology,2016 Apr; 23(4),pp.338-342	Original Article
89	Shiraishi K., Ishikawa T., Watanabe N., et al	山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学講座	Salvage hormonal therapy after failed microdissection testicular sperm extraction: A multi-institutional prospective study	International Journal of Urology,2016 Jun; 23(6),pp.496-500	Original Article
90	Oka S., Shiraishi K., Matsuyama H.	山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学講座	Microsurgical Anatomy of the Spermatic Cord and Spermatic Fascia: Distribution of Lymphatics, and Sensory and Autonomic Nerves	Journal of Urology,2016 Jun; 195(6),pp.1841-1847	Original Article
91	Nagata Y., Fujimoto M., Nakamura K., et al	山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学講座	Anti-TNF-α agent infliximab and splenectomy are protective against renal ischemia-reperfusion injury	Transplantation,2016 Aug; 100(8),pp.1675-1682	Original Article
92	Kobayashi K., Matsumoto H., Matsuyama H., et al	山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学講座	Clinical significance of CD44 variant 9 expression as a prognostic indicator in bladder cancer	Oncology Reports,2016 Dec; 36(5),pp.2852-2860	Original Article
93	Matsumoto H., Munemori M., Shimizu K., et al	山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学講座	Risk stratification using Bmi-1 and Snail expression is a useful prognostic tool for patients with upper tract urothelial carcinoma	International Journal of Urology,2016 Dec; 23(12),pp.1030-1037	Original Article
94	Kobayashi K., Matsuyama H., Shimizu K., et al	山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学講座	Clinical significance of a second-line chemotherapy regimen with paclitaxel, ifosfamide and nedaplatin for metastatic urothelial carcinoma after failure of cisplatin-based chemotherapy	Japanese Journal of Clinical Oncology,2016 Aug; 46(8),article_id: hyw071	Original Article

小計8件

95	Yamamoto Y., Oga A., Akao J., et al	山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学講座	BUBR1 overexpression predicts disease-specific survival after nephroureterectomy in patients with upper tract urothelial carcinoma	Japanese Journal of Clinical Oncology,2016 Oct; 46(8),article_id: hyw060	Original Article
96	Oka S., Shiraishi K., Matsuyama H.	山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学講座	Effects of human chorionic gonadotropin on testicular interstitial tissues in men with non-obstructive azoospermia	Andrology,2017 Mar; 5(2),pp.232-239	Original Article
97	Shiraishi K., Oka S., Matsuyama H.	山口大学大学院医学系研究科泌尿器科学講座	Predictive Factors for Sperm Recovery after Varicocelectomy in Men with Nonobstructive Azoospermia	Journal of Urology,2017 Feb; 197(2),pp.485-490	Original Article
98	Morishige N., Morita Y., Yamada N., et al	山口大学大学院医学系研究科眼科学講座	Differential Changes in Intraocular Pressure and Corneal Manifestations in Individuals with Viral Endotheliitis after Keratoplasty	Cornea,2016 May; 35(5),pp.602-606	Original Article
99	Kimura K., Zhou H., Orita T., et al	山口大学大学院医学系研究科眼科学講座	Inhibition by all-trans retinoic acid of collagen degradation mediated by corneal fibroblasts	Clinical and Experimental Ophthalmology,2016 Aug; 44(6),pp.502-508	Original Article
100	Kobayashi Y., Kimura K., Fujitsu Y., et al	山口大学大学院医学系研究科眼科学講座	Methotrexate-associated orbital lymphoproliferative disorder in a patient with rheumatoid arthritis: a case report	Japanese Journal of Ophthalmology,2016 May; 60(3),pp.212-218	Original Article
101	Hatano M., Kimura K., Nomi N., et al	山口大学大学院医学系研究科眼科学講座	Combination management by C-arm fluoroscopy and extraocular muscle severance for penetrating ocular trauma with a retrobulbar foreign body	Orbit,2016 Jun; 35(3),pp.167-169	Original Article
102	Morishige N., Murata S., Nakamura Y., et al	山口大学大学院医学系研究科眼科学講座	Coordinated regulation of palladin and α-smooth muscle actin by transforming growth factor-β in human corneal fibroblasts	Investigative Ophthalmology and Visual Science,2016 Jun; 57(7),pp.3360-3368	Original Article

小計8件

103	Tokuda K., Kuramitsu Y., Baron B., et al	山口大学大学院医学系研究科眼科学講座	Changes in metabolic proteins in ex vivo rat retina during glutamate-induced neural progenitor cell induction	Molecular and Cellular Biochemistry,2016 Aug; 419(1-2),pp.177-184	Original Article
104	Suzuki T., Morishige N., Arita R., et al	山口大学大学院医学系研究科眼科学講座	Morphological changes in the meibomian glands of patients with phlyctenular keratitis: a multicenter cross-sectional study	BMC Ophthalmology,2016 Oct; 16(1),pp.1-5	Original Article
105	Tsuda J., Sugahara K., Hori T., et al	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学講座	A study of hearing function and histopathologic changes in the cochlea of the type 2 diabetes model Tsumura Suzuki obese diabetes mouse	Acta Oto-Laryngologica,2016 Nov; 136(11),pp.1097-1106	Original Article
106	Hirose Y., Sugahara K., Kanagawa E., et al	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学講座	Quercetin protects against hair cell loss in the zebrafish lateral line and guinea pig cochlea	Hearing Research,2016 Dec; 342,pp.80-85	Original Article
107	Hara H., Tsutsumi M., Tarumoto S., et al	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学講座	Validation of a new snoring detection device based on a hysteresis extraction algorithm	Auris Nasus Larynx,2017 Feb; ,	Original Article
108	Takemoto Y., Hirose Y., Sugahara K., et al	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学講座	Protective effect of an astaxanthin nanoemulsion against neomycin-induced hair-cell damage in zebrafish	Auris Nasus Larynx,2017 Feb; ,	Original Article
109	Kunihiro Y., Kobayashi T., Tanaka N., et al	山口大学大学院医学系研究科放射線医学講座	High-resolution CT findings of primary lung cancer with cavitation: a comparison between adenocarcinoma and squamous cell carcinoma	Clinical Radiology,2016 Nov; 71(11),pp.1126-1131	Original Article
110	Tanabe M., Kanki A., Wolfson T., et al	山口大学大学院医学系研究科放射線医学講座	Imaging outcomes of liver imaging reporting and data system version 2014 category 2, 3, and 4 observations detected at CT and MR imaging	Radiology,2016 Oct; 281(1),pp.129-139	Original Article

小計8件

111	Shiinoki T., Kawamura S., Uehara T., et al	山口大学大学院医学系研究科放射線腫瘍学講座	Evaluation of a combined respiratory-gating system comprising the TrueBeam linear accelerator and a new real-time tumor-tracking radiotherapy system: a preliminary study	Journal of Applied Clinical Medical Physics,2016 Jul; 17(4),pp.202-213	Original Article
112	Shiinoki T., Hanazawa H., Yuasa Y., et al	山口大学大学院医学系研究科放射線腫瘍学講座	Verification of respiratory-gated radiotherapy with new real-time tumour-tracking radiotherapy system using cine EPID images and a log file	Physics in Medicine and Biology,2017 Feb; 62(4),pp.1585-1599	Original Article
113	Yakabe K., Murakami A., Kajimura T., et al	山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座	Functional significance of transgelin-2 in uterine cervical squamous cell carcinoma	Journal of Obstetrics and Gynaecology Research,2016 May; 42(5),pp.566-572	Original Article
114	Sugino N, Tamura I, Maekawa R, et al	山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座	Decidualization and epigenetic regulation.	Uterine Endometrial Function,2016 Jun; ,125-137	Original Article
115	Sato S., Maekawa R., Yamagata Y., et al	山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座	Identification of uterine leiomyoma-specific marker genes based on DNA methylation and their clinical application	Scientific Reports,2016 Aug; 6,article_id: 30652	Original Article
116	Okada M., Lee L., Maekawa R., et al	山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座	Epigenetic changes of the cyp11a1 promoter region in granulosa cells undergoing luteinization during ovulation in female rats	Endocrinology,2016 Sep; 157(9),pp.3344-3354	Original Article
117	Tamura H., Kawamoto M., Sato S., et al	山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座	Long-term melatonin treatment delays ovarian aging	Journal of Pineal Research,2017 Mar; 62(2),article_id: e12381	Original Article
118	Inamura A., Nomura S., Sadahiro H., et al	山口大学大学院医学系研究科脳神経外科学講座	Multiple encephalogaleoperiosteal synangiosis for bilateral carotid artery stenosis in a 13-year-old girl: a case report	Child's Nervous System,2016 May; 32(5),pp.877-880	Original Article

小計8件

119	Sugimoto K., Ideguchi M., Kimura T., et al	山口大学大学院医学系研究科脳神経外科学講座	Epithelioid/rhabdoid glioblastoma: a highly aggressive subtype of glioblastoma	Brain Tumor Pathology,2016 Apr; 33(2),pp.137-146	Original Article
120	Suehiro E., Koizumi H., Inoue T., et al	山口大学大学院医学系研究科脳神経外科学講座	Neurocritical care for traumatic brain injury	Japanese Journal of Neurosurgery,2016; 25(3),pp.214-219	Original Article
121	Suehiro E., Sadahiro H., Goto H., et al	山口大学大学院医学系研究科脳神経外科学講座	Importance of early postoperative body temperature management for treatment of subarachnoid hemorrhage	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases,2016 Jun; 25(6),pp.1482-1488	Original Article
122	Nomura S., Koizumi H., Suehiro E., et al	山口大学大学院医学系研究科脳神経外科学講座	Unique distribution of benzodiazepine receptors in the brain during the first two years of life	Pediatric Neurosurgery,2016 May; 51(5),pp.244-248	Original Article
123	Koizumi H., Suehiro E., Fujiyama Y., et al	山口大学大学院医学系研究科脳神経外科学講座	Effects of brain temperature on cerebrovascular autoregulation during the acute stage of severe traumatic brain injury	Acta Neurochirurgica, Supplementum,2016; 122,pp.193-197	Original Article
124	Sadahiro H., Shirao S., Yoneda H., et al	山口大学大学院医学系研究科脳神経外科学講座	Decreased Flow Velocity with Transcranial Color-Coded Duplex Sonography Correlates with Delayed Cerebral Ischemia due to Peripheral Vasospasm of the Middle Cerebral Artery	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases,2016 Oct; 25(10),pp.2352-2359	Original Article
125	Sugimoto K., Shirao S., Koizumi H., et al	山口大学大学院医学系研究科脳神経外科学講座	Continuous Monitoring of Spreading Depolarization and Cerebrovascular Autoregulation after Aneurysmal Subarachnoid Hemorrhage	Journal of Stroke and Cerebrovascular Diseases,2016 Oct; 25(10),pp.e171-e177	Original Article
126	Suehiro E., Fujiyama Y., Sugimoto K., et al	山口大学大学院医学系研究科脳神経外科学講座	Treatments for mild and moderate traumatic brain injury	Japanese Journal of Neurosurgery,2016; 26(3),pp.178-184	Original Article

小計8件

127	Mishima K., Shiraishi M., Kawai Y., et al	山口大学大学院医学系研究科歯科口腔外科学講座	Characteristics of Posed Smiles for Class III Female Patients Before and After Osteotomy Using Principal Component Analysis	The Journal of craniofacial surgery,2016 Oct; 27(7),pp.1754-1758	Original Article
128	Harada K., Ferdous T., Harada T., et al	山口大学大学院医学系研究科歯科口腔外科学講座	High expression of stathmin 1 is a strong prognostic marker in oral squamous cell carcinoma patients treated by docetaxel-containing regimens	Clinical and Experimental Medicine,2017 Feb; 17(1),pp.45-50	Original Article
129	Mishima K., Shiraishi M., Kawai Y., et al	山口大学大学院医学系研究科歯科口腔外科学講座	Frenum-like oral synechiae of the lip and vestibule	Oral and Maxillofacial Surgery,2016 Jun; 20(2),pp.219-222	Original Article
130	Harada K., Ferdous T., Harada T., et al	山口大学大学院医学系研究科歯科口腔外科学講座	Metformin in combination with 5-fluorouracil suppresses tumor growth by inhibiting the Warburg effect in human oral squamous cell carcinoma	International Journal of Oncology,2016 Jul; 49(1),pp.276-284	Original Article
131	Harada K., Ferdous T., Cui D., et al	山口大学大学院医学系研究科歯科口腔外科学講座	Induction of artificial cancer stem cells from tongue cancer cells by defined reprogramming factors	BMC Cancer,2016 Aug; 16(1),article_id: 548	Original Article
132	Harada K, Ferdous T, Ueyama Y.	山口大学大学院医学系研究科歯科口腔外科学講座	Gimeracil Exerts Radiosensitizing Effects on Oral Squamous Cell Carcinoma Cells In Vitro and In Vivo	Anticancer Research ,2016 Nov; 36 (11),pp.5923-5930	Original Article
133	Nakano A., Mishima K., Shiraishi M., et al	山口大学大学院医学系研究科歯科口腔外科学講座	Quantitative analysis of velopharyngeal movement by applying principal component analysis to range images produced by a three-dimensional endoscope	Dentistry Journal,2017 Mar; 5,article_id: 14	Original Article
134	Suehiro Y., Sakai K., Nishioka M., et al	山口大学大学院医学系研究科臨床検査・腫瘍学講座	Highly sensitive stool DNA testing of Fusobacterium nucleatum as a marker for detection of colorectal tumours in a Japanese population	Annals of Clinical Biochemistry,2017 Jan; 54(1),pp.86-91	Original Article

小計8件

135	Koga Y., Kaneda K., Mizuguchi I., et al	山口大学大学院医学系研究科救急・総合診療医学講座	Extent of pleural effusion on chest radiograph is associated with failure of high-flow nasal cannula oxygen therapy	Journal of Critical Care,2016 Apr; 32,pp.165-169	Original Article
136	Fukuda S., Miyauchi T., Fujita M., et al	山口大学大学院医学系研究科救急・総合診療医学講座	Risk factors for late defecation and its association with the outcomes of critically ill patients: A retrospective observational study	Journal of Intensive Care,2016 Apr; 4(1),article_id: 33	Original Article
137	Yagi T, Fujita M, Inoue T, et al	山口大学大学院医学系研究科救急・総合診療医学講座	Cardiac arrest due to massive hemorrhage from uterine adenomyosis with leiomyoma successfully treated with damage control resuscitation	Acute Medicine & Surgery,2016 Oct; 3,pp.388-391	Original Article
138	Koga Y, Fujita M, Nakahara T, et al	山口大学大学院医学系研究科救急・総合診療医学講座	Splenic volume in severe sepsis is associated with disease severity and pneumococcal infection	Acute Medicine & Surgery,2016 Oct; 3,pp.339-344	Original Article
139	Oie S., Furukawa H., Kobayashi H., et al	山口大学大学院医学系研究科臨床薬理学講座	Cleanliness of linen and clothing items professionally laundered or dry-cleaned	Japanese Journal of Infectious Diseases,2016; 69(1),pp.75-76	Original Article
140	Kurashige E.J.O., Oie S., Furukawa H.	山口大学大学院医学系研究科臨床薬理学講座	Contamination of environmental surfaces by methicillin-resistant Staphylococcus aureus (MRSA) in rooms of inpatients with MRSA-positive body sites	Brazilian Journal of Microbiology,2016 Apr; 47(3),pp.703-705	Original Article
141	Saisyo A., Shimono R., Oie S., et al	山口大学大学院医学系研究科臨床薬理学講座	The risk of microbial contamination in multiple-dose preservative-free ophthalmic preparations	Biological and Pharmaceutical Bulletin,2017; 40(2),pp.182-186	Original Article
142	Kawano R., Ichihara K., Wada T.	山口大学医学部附属病院臨床研究センター	Derivation of level-specific reference change values (RCV) from a health screening database and optimization of their thresholds based on clinical utility	Clinical Chemistry and Laboratory Medicine,2016 Sep; 54(9),pp.1517-1529	Original Article

小計8件
計142件

（注）1　当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2　報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること（筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。）

3　「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4　「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5　「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月（原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない）; 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
（出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月（オンライン掲載月）の後に（オンライン）と明記すること）。
記載例:　Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9　/　Lancet. 2015 Dec（オンライン）

6　「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文（任意）

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	谷澤幸生	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学講座	GLT2阻害薬の特徴を生かした活用と留意点 糖尿病治療薬によるシームレスな血糖コントロール	糖尿病UP DATE賢島セミナー,2016.5.,,114-121	Original Article
2	宮崎睦子，谷澤幸生	山口大学医学部附属病院医療人育成センター	新内科専門医制度と糖尿病専門医	DIABETES JOURNAL,2016.6.,Vol.44. No.2,39-44	Original Article
3	田部勝也，谷澤幸生	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学講座	少遺伝子型(oligogenic) 糖尿病の解析 (2) Wolfram症候群と糖尿病	Diabetes Frontier,2016.8.,Vol.27. No.3,466-471	Original Article
4	松村卓郎，谷澤幸生	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学講座	血糖検査 a.血糖，HbA1c，グリコアルブミン，インスリン	内科9 増大号,2016.9.,,547-550	Original Article
5	近藤 学，谷澤幸生	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学講座	2型糖尿病の成因と病態	診断と治療のABC117糖尿病(門脇孝企画),2016.10.,,37-42	Original Article
6	竹田孔明，谷澤幸生	山口大学大学院医学系研究科病態制御内科学講座	糖尿病治療薬	新薬展望 増刊号,2017.1.,Vol.53.S-1,191-195	Original Article
7	藤川 晋，尾本 雅俊，小笠原 淳一 その他	山口大学大学院医学系研究科神経内科学講座	18F-FDG PET CTで他臓器病変が明らかになった"非全身性"血管炎性ニューロパチーの43歳男性例	臨床神経,2016.3.,56,88－92	Original Article
8	佐々木順，松原敏郎，渡邉義文	山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座	退院時Body Mass Indexが予後良好の指標であった神経性無食欲症の1例	精神医学,2017.1.,59(1),85-89	Original Article
9	松原敏郎，松田敦子，松尾幸治 その他	山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座	うつ病患者の受療行動の変化および内科開業医のうつ状態・うつ病に対する意識についての調査	精神科治療学,2017.3.,32(3),405-412	Original Article

小計9件

10	松尾幸治	山口大学大学院医学系研究科高次脳機能病態学講座	薬剤情報の自動車運転等の禁止等を患者に説明するには	精神医学,2016.12.,58(12),1023-1025	Original Article
11	溝口高弘,村上順一,佐野史歩 その他	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	神経内分泌的形態をもつ大細胞癌と腺扁平上皮癌からなる異時性多発肺癌の1例	山口医学,2016.5.,65(2),pp.95-100	Original Article
12	松野 祐太朗, 森景 則保, 佐村 誠 その他	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	腹部大動脈瘤に対して人工血管置換術施行後に被覆瘤壁が増大・破裂した1 例	日本血管外科学会雑誌,2016.5.,25,pp.159-163	Original Article
13	井上 貴之,村上 順一,佐野 史歩 その他	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	小細胞肺癌の化学放射線療法後に被照射肺に発生した腺癌の1切除例	日本呼吸器外科学会雑誌,2016.7.,30(5),pp.584-588	Original Article
14	岩本圭亮,村上順一,佐野史歩 その他	山口大学大学院医学系研究科器官病態外科学講座	後縦隔 Muller管嚢胞の1例	日本臨床外科学会雑誌,2016.8.,77(8),pp.1917-1922	Original Article
15	桑原太一, 坂本和彦, 中島正夫 その他	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	特集6　肝区域・葉切除術	消化器外科NURSING GASTROENTEROLOGICAL SURGERY NURSING 2016年,2016.7.,第21巻7号,40(608)-47(615)	Original Article
16	飯田通久, 吉野茂文, 北原正博 その他	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	安全かつ迅速な hemi-double stapling method による幽門側胃切除後 B-Ⅰ 再建	手術,2016.7.,第70巻　第8号,1085-1090	Original Article
17	木村祐太, 硲彰一, 井上由佳 その他	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	腹腔鏡下直腸前方切除術における modified double stapling technique (mDST) の有用性	手術,2016.8.,第70巻　第9号,1245-1249	Original Article
18	木村祐太, 鈴木伸明, 友近忍 その他	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	局所制御目的に原発巣の姑息的拡大切除を行った 切除不能進行 S 状結腸癌の 1 例	癌と化学療法,2016.11.,第43巻　第12号,1724－1726	Original Article
19	藤原康弘, 坂本和彦, 徳久善弘 その他	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	肝原発 Mucosa-Associated Lymphoid Tissue (MALT) リンパ腫の 2 切除例	癌と化学療法,2016.11.,第43巻　第12号,1794－1796	Original Article
20	田中宏典, 鈴木伸明, 友近忍 その他	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	大臀筋付き後大腿皮弁で再建した直腸癌フルニエ壊疽の1例	癌と化学療法,2016.11.,第43巻　第12号,1821－1823	Original Article

小計11件

21	藤本拓也，上野富雄，坂本和彦 その他	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	GEM＋nab-PTX による術前化学療法が奏効したBorderline Resectable (BR) 膵癌の 1 切除例	癌と化学療法,2016.11.,第43巻 第12号,1978－1981	Original Article
22	西山光郎，武田茂，兼清信介 その他	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	根治的化学放射線療法で CR が得られた皮下膿瘍を伴う異時性頸部食道癌の1例	癌と化学療法,2016.11.,第43巻 第12号,2004－2006	Original Article
23	徳久晃弘，武田茂，兼清信介 その他	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	術前確定診断が得られなかった食道粘膜下腫瘍に対して胸腔鏡下腫瘍核出術を施行した1例	癌と化学療法,2016.11.,第43巻 第12号,2175－2177	Original Article
24	桑原太一，徳久善弘，鈴木伸明 その他	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	広範な腹壁膿瘍を形成した上行結腸癌に対して二期的根治切除を施行し得た1 例	癌と化学療法,2016.11.,第43巻 第12号,2341－2343	Original Article
25	千々松日香里，松井洋人，飯田通久 その他	山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学講座	分子標的薬と TAE により長期に腫瘍制御が得られた再発十二指腸 GIST の 1 例	癌と化学療法,2016.11.,第43巻 第12号,2362－2364	Original Article
26	倉田裕介，沖田朋子，永井伸幸 その他	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座	過去7年間における山口大学医学部附属病院皮膚科で経験した頭部血管肉腫10例の臨床的検討	皮膚科の臨床,2016.4.,Vol.58-No.4,pp.553-557	Original Article
27	永井伸幸，沖田朋子，一宮誠 その他	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座	Shaggy Aorta症候群の1例	西日本皮膚科,2016.8.,Vol.78-No.4,pp.376-378	Original Article
28	山口道也，中野純二，岡田悠 その他	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座	難治性粘膜皮膚型尋常性天疱瘡	皮膚病診療,2016.11.,Vol.38-No.11,pp.281-285	Original Article
29	下村裕	山口大学大学院医学系研究科皮膚科学講座	子供の毛髪疾患の診断の進め方	小児科,2017.3.,Vol.58-No.3,pp.1077-1081	Original Article
30	竹本洋介，広瀬敬信，菅原一真 その他	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学講座	ナノ製剤による側線器有毛細胞保護効果の検討ーゼブラフィッシュを用いてー	耳鼻咽喉科ニューロサイエンス,2016.5,30,32-34	Original Article
31	原 浩貴，田原晋作，山下裕司.	山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学講座	夜尿と小児睡眠時無呼吸症ーアデノイド切除術・両側口蓋扁桃摘出術後に改善をみた中学生の夜尿症の一例ー	睡眠医療,2016.12,10(4),607-612	Original Article

小計11件

32	澁谷景子，花澤豪樹，高橋昌太郎	山口大学大学院医学系研究科放射線腫瘍学講座	膵癌放射線療法のさらなる個別化を目指して	癌の臨床,2016.11,62(5),pp.243-249	Original Article
33	三原由美子，前川　亮，土井結美子 その他	山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座	当院における胎児超音波スクリーニングと胎児異常診断率	現代産婦人科,2016,64(2),403-409	Original Article
34	西本裕喜，末岡幸太郎，中島健吾 その他	山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座	G-CSF 産生子宮頚癌の1例	現代産婦人科,2016,64(2),409-413	Original Article
35	品川征大，前川　亮，爲久哲郎 その他	山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座	深部静脈血栓症スクリーニングにおける妊娠後期D-dimer測定の有用性	現代産婦人科,2017,65(1),115-119	Original Article
36	澁谷文恵，竹谷俊明，中島健吾 その他	山口大学大学院医学系研究科産科婦人科学講座	卵巣子宮内膜症性嚢胞に対して腹腔鏡下卵巣腫瘍摘出術を行い卵巣異型内膜症と診断され再手術を要した一例	現代産婦人科,2017,65(2),293-295	Original Article
37	松本聡	山口大学医学部附属病院 麻酔科蘇生科	ICU再入室に関連する諸問題	日本集中治療医学会雑誌,2016.5.,23,298-299	Original Article
38	石田和慶，山下敦生，山下理	山口大学大学院医学系研究科医学専攻 麻酔・蘇生学講座	経頭蓋ドプラ	INTENSIVIST,2017.1.,9-1,29-43	Original Article
39	河井由衣，内田堅一郎，藤井貴寛 その他	山口大学大学院医学系研究科歯科口腔外科学講座	ダビガトラン投与中の患者のエナメル上皮腫の治療経験	有病者歯科医療,2016.4.,25(1),21-26	Original Article
40	藤田温志，真野隆充，堀永大樹 その他	山口大学大学院医学系研究科歯科口腔外科学講座	合併損傷を伴った顎顔面骨折症例の検討.	日本口腔顎顔面外傷学会誌,2016.12.,15(1.2),7-12	Original Article
41	小出裕実子，真野隆充，堀永大樹 その他	山口大学大学院医学系研究科歯科口腔外科学講座	当科における高齢者の顎顔面骨骨折の臨床的検討.	日本口腔顎顔面外傷学会誌,2016.12.,15(1.2),13-17	Original Article
42	真野隆充，梅田浩嗣，竹縄隆徳 その他	山口大学大学院医学系研究科歯科口腔外科学講座	テリパラチド投与と外科的治療により治癒したビスフォスフォネート関連顎骨壊死の1例.	日本歯科先端技術研究所学術会誌,2017.2.,23(1),11-13	Original Article

小計11件

43	水口市子，藤田基，田中亮その他	山口大学医学部附属病院先進救急医療センター	Clostridium difficile感染症に続発した溶血性尿毒症症候群の一例	日本集中治療医学会雑誌,2016.7,23-4,393-397	Original Article
44	樫部 公一，猪飼 宏，末永 利一郎 その他	山口大学医学部附属病院 医療情報部	病院情報システムにおけるオーダ時チェックの頻度ならびに臨床的有用性の評価	医療情報学,2017.1.,36(5),241-251	Original Article
45	河口 義隆，尾家 重治，古川 裕之	山口大学医学部附属病院 薬剤部	MDRPおよびMDRAに対する複合型塩素系除菌・洗浄剤の有効性	日本環境感染学会誌,2016.11,31巻6号,Page366-369	Original Article

小計3件
計45件

（注）1　当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

①　倫理審査委員会の設置状況	有・無
②　倫理審査委員会の手順書の整備状況	有・無
・　手順書の主な内容 目的と適用範囲について、委員会の役割・責務について、委員会の業務について等 「臨床研究に関する倫理指針」に則った各項目を整備し、手順書を定めている。	
③　倫理審査委員会の開催状況	年１３回

（注）　1　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2　前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	有・無
②　利益相反の管理に関する規定の整備状況	有・無
・　規定の主な内容 委員会の設置について、審議事項について、組織について等	
③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年３０回

(注）前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年７回
・研修の主な内容 人医学系研究の倫理指針について、申請手続について、IRB審査について、人医学系研究にかかる利益相反について等	

(注）前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

山口大学医学部附属病院における専門研修プログラムは、本院の各診療科(部)長の統括管理のもとに、本院が基幹施設となり、主に山口県内の各医療圏の中核病院を連携施設として専門研修施設群を形成し、基本領域専門医からサブスペシャルティ専門医まで取得可能となるよう体系的に研修プログラムを策定しており、大学病院及び地域中核病院の医療現場においても、数多くの症例を経験することによって、各診療領域における実践的かつ高度な専門的診療能力(知識及び技能)の育成を図っている。

また、本院においては、専門研修を行いながら、山口大学大学院医学系研究科に進学し、学位を取得することが可能となっており、今後の医療の発展を支えるリサーチマインドを有する臨床医の養成を推進している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2　研修の実績

上記研修を受けた医師数	４３人

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
坂井田　功	第一内科	科長	３４年	内科
矢野　雅文	第二内科	科長	３３年	内科
谷澤　幸生	第三内科	科長	３３年	内科
神田　　隆	神経内科	科長	３５年	内科
松永　和人	呼吸器・感染症内科	科長	２６年	内科
長谷川　俊史	小児科	科長	２６年	小児科
下村　　裕	皮膚科	科長	１８年	皮膚科
松尾　幸治	精神科神経科	副科長	２３年	精神科
濱野　公一	第一外科	科長	３１年	外科
永野　浩昭	第二外科	科長	３１年	外科
田口　敏彦	整形外科	科長	３６年	整形外科
杉野　法広	産科婦人科	科長	３１年	産婦人科
木村　和博	眼科	科長	２２年	眼科
山下　裕司	耳鼻咽喉科	科長	３２年	耳鼻咽喉科
松山　豪泰	泌尿器科	科長	３５年	泌尿器科
鈴木　倫保	脳神経外科	科長	３７年	脳神経外科
田辺　昌寛	放射線科	副科長	１５年	放射線科
澁谷　景子	放射線治療科	科長	２５年	放射線科
松本　美志也	麻酔科蘇生科	科長	３２年	麻酔科
池田　栄二	病理形態学	教授	３１年	病理
山崎　隆弘	検査部	部長	３０年	臨床検査
鶴田　良介	先進救急医療センター	センター長	２６年	救急科
野垣　宏	地域・老年看護学	教授	３５年	リハビリテーション科
黒川　典枝	総合診療部	部長	３２年	総合診療
三島　克章	歯科口腔外科	副科長	２７年	歯科口腔外科

(注) 1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4　医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

【検査部】

研修名（主な内容）	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
大腸・小腸 カプセル内視鏡の最新情報	6 月 29 日	34
自家末梢血幹細胞移植に関する技術協力の現状	11 月 2 日	32

【放射線部】

研修名研修名（主な内容）	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
放射線治療に関する研修（RALS 研修（年 2 回）、がんセンター見学研修（1 週間）、群馬大学見学研修、放射線治療専門技師機構研修（年 2 回）、放射線治療品質管理機構研修）	20 日・7回	20

【看護部／対象：新人看護師】

研修名（主な内容）	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
新採用者研修 オリエンテーション	4 月 1 日・4 日・5 日・6 日	105
看護記録システム	4 月 11 日・12 日	104
薬剤研修ステップⅠ「与薬」、「静脈注射と輸液管理」	4 月 20 日	101
防火訓練	4 月 22 日	104
医療安全に関する研修Ⅰ リスクマネジメントマニュアルを知ろう	5 月 6 日	101
看護記録基礎編	5 月 20 日	100
2か月目の振り返り	6 月 10 日	102
急変対応を学ぶ	6 月 21 日・29 日	103
輸血の取り扱い	7 月 6 日	104
薬剤研修ステップⅡ「麻薬・劇薬・毒薬・抗がん剤」の取り扱い	7 月 11 日	98

6か月目の振り返り	9月9日	102
医材センター研修	10月－11月	103
看取りの看護	12月2日	96
人工呼吸器の基礎知識	12月21日	99
1年目の振り返り	平成29年3月3日	94
技術演習① ・感染対策，清潔操作	4月9日	98
技術演習② ・点滴準備		101
新人サポート研修 コミュニケーションⅠ		97
技術演習③ ・輸液ポンプ,シリンジポンプ	4月23日	99
技術演習④ ・体位変換		99
新人サポート研修 メンタルヘルス		98
技術演習⑤ ・静脈血採血	5月7日	98
技術演習⑥ ・皮下注射,筋肉内注射		98
新人サポート研修 社会人基礎力		97
技術演習⑦ ・吸引・吸入	5月21日	97
技術演習⑧ ・導尿		97
新人サポート研修 コミュニケーションⅡ		96
技術演習⑨ ・経管栄養管理	6月4日	96
技術演習⑩ ・多重課題シミュレーションⅠ		95
医療安全に関する研修Ⅱ リスク感性を高めよう:KYT		94
技術演習⑪ ・フィジカルアセスメント	7月6日	97
技術演習⑫ ・静脈留置針の挿入	7月26日	97
技術演習⑬ ・心電図モニター	10月12日	97

技術演習⑭ ・多重課題シミュレーションⅡ	平成 29 年 2 月 1 日	93
フォローアップデー	8 月 24 日・25 日 その後適宜開催	75

【看護部／対象：ラダーⅡを目指す人】

研修名研修名（主な内容）	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
2年目研修① フィジカルアセスメント	7 月 13 日 8 月 3 日 9 月 7 日	28 29 27
2年目研修② メンバーシップ	11 月 11 日 11 月 28 日 12 月 12 日	28 27 23
2年目研修③ ケースレポート	平成 29 年 2 月 3 日 2 月 10 日 2 月 15 日	28 29 21
3年目研修① 看護過程	6 月 13 日 6 月 27 日	21 35
3年目研修② 看護をふりかえる	10 月 14 日 10 月 28 日	27 27
3年目研修③ 組織の中での役割を考える	平成 29 年 1 月 13 日 1 月 27 日	26 28
プリセプター研修②	6 月 20 日	41
プリセプター研修③	9 月 14 日	38
プリセプター研修④	平成 29 年 2 月 20 日	38
プリセプター研修①	平成 29 年 3 月 22 日	56
看護研究を完成させる③	9 月 30 日	18
看護研究を完成させる①	11 月 16 日	27
看護研究を完成させる②	平成 29 年 1 月 6 日	29
リーダーシップⅠ	6 月 8 日	23
クリティカルケア院内研修	平成 29 年 1 月～3 月の月～金の連続 5 日間	29

【看護部／対象：ラダーⅢを目指す人】

研修名研修名（主な内容）	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
リーダーシップⅡ	7 月 29 日	24
看護研究を支援するために①	10 月 3 日	43
看護研究を支援するために②	11 月 2 日	43
看護記録を考える	12 月 7 日	37
チーム医療と組織での役割	平成 29 年 1 月 18 日	19

地域連携	5 月 18 日 6 月 15 日 7 月 20 日 9 月 21 日 10 月 5 日	27 28 29 29 29

【看護部／対象：ラダーⅣを目指す人】

研修名研修名（主な内容）	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
院内看護管理入門研修 （全 10 回）	①4 月 27 日 ②5 月 25 日 ③6 月 22 日 ④7 月 27 日 ⑤9 月 14 日 ⑥10 月 26 日 ⑦11 月 30 日 ⑧12 月 28 日 ⑨8 月 31 日 ⑩平成 29 年 1 月 25 日 （④⑦⑨は公開講座）	11 11 11 25 11 11 55 11 49 11

【看護部／対象：全看護師】

研修名研修名（主な内容）	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
院内看護研究発表会 （ラダーⅣグループの運用）	平成 29 年 1 月 21 日	215
院内 ICLS 研修 （ラダーⅢグループの運用）	5 月 12 日 6 月 7 日 7 月 7 日 8 月 2 日 9 月 1 日 10 月 4 日 11 月 10 日 12 月 6 日 平成 29 年 1 月 5 日 平成 29 年 2 月 7 日 平成 29 年 3 月 2 日	9 8 9 8 9 8 9 8 8 8 9
認知症対応研修（基礎）	6 月 17 日	146
報告会①② （ラダーⅢグループの運用）	①9 月 12 日 ②平成 29 年 2 月 17 日	167 126
アドバンストナースチーム ミニレクチャー①②③④⑤ （アドバンストチームの運用）	5 月 27 日 7 月 22 日 9 月 30 日 11 月 25 日 平成 29 年 1 月 21 日	82 37 56 52 106

【看護部主催／対象：管理者】

研修名研修名（主な内容）	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
看護管理研修（看護師長） 労務管理	5 月 30 日	29
看護管理研修（副看護師長）	6 月 25 日	50
看護管理研修（看護師長）	7 月 9 日	28
昇任管理者研修・ オリエンテーション	平成 29 年 3 月 15 日	6

【看護部主催／その他】

研修名研修名（主な内容）	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
看護必要度研修①②③	① 5 月 23 日 ②10 月 31 日 ③12 月 16 日	194 225 155
看護必要度研修新人編	8 月 25 日	96
学ぼう・褥瘡予防ケア（新人編）	6 月 3 日	98
褥瘡・褥瘡予防ケア	①5 月 11 日 ②8 月 1 日 ③11 月 18 日	203 143 171

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

【放射線部】

研修名研修名（主な内容）	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
放射線取扱主任者定期講習	4 日・4 回	4

【看護部／対象：看護補助者】

研修名研修名（主な内容）	研修の期間・実施回数（開催日）	参加人数
医療制度の概要及び病院の機能と組織の理解	4 月 13 日	64
看護補助業務における医療安全	4 月 25 日	65
看護補助業務における感染防止対策①	5 月 11 日	64
医療チーム及び看護チームの一員としての看護補助業務の理解 日常生活にかかわる業務	6 月 1 日	68
看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術①【移送・移乗】	7 月 8 日	36
働き続けられる職場づくり	9 月 2 日	71
看護補助業務を遂行するための基礎的な知識・技術②【寝衣交換】	10 月 19 日	33
看護補助業務における感染防止対策②	11 月 21 日	70
一次救命処置	12 月 14 日	69
ふりかえり	平成 29 年 3 月 8 日	70

③　他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
・研修の主な内容 ・研修の期間・実施回数 ・研修の参加人数

(注) 1　高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。
(注) 2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1．計画　2．現状
管理責任者氏名	病院長　杉野　法広
管理担当者氏名	総務課長　水津　賢治 医事課長　茅野　康弘

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	医学部総務課	紙媒体のカルテは入院、外来別に１患者１ファイル方式として、保存整理している。 2009年9月より順次電子カルテシステムに移行し、移行後は電子媒体で保管している。 診療録の病院外持ち出しは、原則禁止としている。
		各科診療日誌	各診療科	
		処方せん	薬剤部	
		手術記録	診療録センター 医療情報部	
		看護記録	診療録センター 医療情報部	
		検査所見記録	診療録センター 医療情報部	
		エックス線写真	各診療科　放射線部	
		紹介状	診療録センター 医療情報部	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	診療録センター 医療情報部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	医学部総務課	
		高度の医療の提供の実績	医学部医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部総務課 医学部経営管理課	
		高度の医療の研修の実績	医学部総務課	
		閲覧実績	医学部総務課 医学部医事課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医学部医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医学部医事課	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全推進部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全推進部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全推進部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全推進部	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理センター	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理センター	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理センター	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医学部総務課	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医学部総務課	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医学部総務課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医学部総務課	
		医療安全管理部門の設置状況	医学部総務課	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	医学部医事課	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	医学部医事課	
		監査委員会の設置状況	医学部総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医学部医事課	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医学部総務課	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医学部医事課	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	総務部総務課	
		職員研修の実施状況	医学部医事課	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医学部総務課	

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1．計画　[2]．現状	
閲覧責任者氏名	病院長　杉野　法広	
閲覧担当者氏名	総務課長　水津　賢治 医事課長　茅野　康弘	
閲覧の求めに応じる場所	医学部本館２階　相談室 外来診療棟１階　患者相談室	
閲覧の手続の概要 ・閲覧申込　閲覧申込書を総務課総務係に提出する ・承認者　病院長 ・閲覧方法　指定した日時・場所で行う ・返納方法　当日返納とし、総務課総務係に返納する		

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延　0件
閲覧者別	医師	延　0件
	歯科医師	延　0件
	国	延　0件
	地方公共団体	延　0件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

（様式第 6）

規則第１条の 11 第１項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無

・ 指針の主な内容：

・本院における医療事故防止のための安全管理の取り組みについて

・本院における安全管理体制の確保及び推進のため、病院長を委員長とした「医療安全管理委員会」を設置するとともに、医療安全管理委員会の任務を推進し、組織横断的に安全管理を担う「医療安全推進部」を設置することについて

・医薬品及び医療機器の安全使用のための責任者として「医薬品安全管理責任者」及び「医療機器安全管理責任者」を置くとともに、医療安全管理委員会、医療安全推進部、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括する「医療安全管理責任者」を置き、病院全体で医療安全に取り組むことについて

・全職員を対象として、医療安全に関する研修会を年２回以上開催することについて

・院内全死亡事例の報告並びに医療安全推進部及び医療安全管理委員会において全事例の検討を行うことについて

・院内で発生したインシデントの報告を受けて、医療安全推進部及び医療安全管理委員会において、内容の調査・分析及び再発防止策の検討を行い、インシデントの概要並びに再発防止策については、リスクマネジャー連絡会議等を通じて院内に啓発を行うことについて

・医療事故等発生時の対応に関することについて

・患者等が当該指針を閲覧できることについて

・患者相談窓口を常設し、患者等からの苦情や相談に応じるための組織や体制等を整備していることについて

・マニュアルの作成や見直し、診療録等の記録の指導について

・高難度新規医療技術を用いた医療の提供について

② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況

・ 設置の有無（ 有・無 ）
・ 開催状況：年 １２ 回 （毎月 １回）
・ 活動の主な内容：

１．毎月１回定期的に、緊急時はその都度開催し下記について審議する。
（１）医療事故防止のための安全管理の方策に関すること
（２）医療事故発生時の対応に関すること
（３）インシデント報告に関すること
（原因究明、対応策、再発防止策の検討及び教育・指導）
（４）院内死亡事例に関すること
（５）教育・研修の企画・立案に関すること

２．医療安全推進部（医療安全管理部門）と連携し、医療安全推進部の企画・立案する病院全体の医療の安全管理について、具体的な実践を指導監督する。

３．本院のリスクマネジメントマニュアル、インフォームド・コンセントマニュアル等の作成や、見直し及び診療録等の記入について、関係者に周知して医療事故防止に努め、安全管理を図る。

4．医療事故防止のための安全管理に関する教育・研修会等を開催する。

5．感染対策委員会等他の委員会と連携し、医療事故の防止のため安全管理に取り組む。

③　医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年　2回

・　研修の主な内容：

全職員対象：

年度	研修名（研修テーマ）等
28年度	「医療ガス設備の日常点検について」　院外講師 「肺塞栓予防としての圧迫療法 ～ストッキングと包帯～」　院内講師 「当院での肝炎受診啓発とＨＢＶ再活性化対策」　院内講師 「インシデントレポートから学ぶ医療安全」　院内講師 「チーム医療へ！ TeamSTEPPS とその活用」　院外講師

新規（中途）採用医師：

年度	研修名（研修テーマ）等
28年度	「当院の医療安全体制とその実際」医師ＧＲＭ

研修医：

年度	研修名（研修テーマ）等
28年度	「病院でのリスクマネジメント」　看護師ＧＲＭ 「みんなで創る医療安全」　医師ＧＲＭ

看護師等：

年度	研修名（研修テーマ）等
28年度	全新採用者： 「病院でのリスクマネジメント」　看護師ＧＲＭ 新人看護師： 「与薬」「静脈注射と輸液管理」　薬剤部ＲＭ・医師ＧＲＭ 「リスクマネジメントマニュアルを知る」　看護師ＧＲＭ 「ＫＹＴ（危険予知トレーニング）」　専任ＲＭ 「輸血の取り扱い」　専任ＲＭ（輸血認定看護師） 「麻薬・抗がん剤の取り扱い」　院内講師 看護助手クラーク： 「看護補助業務における医療安全」　看護師ＧＲＭ 全看護師： 「ＥＣＧモニターアラーム対応」　外部講師 「ＤＶＴ予防：ストッキングのはかせ方・フットポンプの機能」院内講師

④　医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況
・　医療機関内における事故報告等の整備　（　有・無　） ・　その他の改善のための方策の主な内容： （インシデント・アクシデント報告の分析・検討） ・報告されてくる内容別に「薬剤」、「ドレーン・チューブ」など９の項目に分け、その項目をさらに種類別に分け集計を行っている。また、別に職種別の報告件数や患者への影響レベル毎の件数を集計している。 ・報告の種類別に内容を分析し、報告や検討等を要する事項については、個別に事例分析を行い発生した要因や原因、また再発防止策を提示して医療安全管理委員会、医療安全推進部会議において審議され決定される。リスクマネジャー連絡会議においては決定事項を各部署のリスクマネジャーへ周知するが、再発防止策などの意見を求める場合は、リスクマネジャーを中心に意見を募り医療安全推進部にて検討される。 （院内死亡事例報告の検証） ・医療安全推進部で死亡退院全事例についてスクリーニングを行う。（死亡退院事例については、原則７日以内に退院サマリを医療安全推進部に提出。全死亡事例について、報告もれがないよう退院データを用いて照合している。）情報収集した各種データを基に、医療安全推進部会議及び医療安全管理委員会で検証を行い、必要な情報を院内にフィードバックしている。

（注）前年度の実績を記入すること。

（様式第 6）

規則第１条の 11 第２項第１号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容： (1) 感染対策に関する基本的考え方 (2) 院内感染対策のための組織に関する基本的事項 (3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 (4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 (5) 院内感染発生時の対応に関する基本方針 (6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 (7) 本病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 (8) 感染対策の地域連携に関する基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 １２回
・ 活動の主な内容： (1) 感染予防に関すること (2) 感染予防対策実施の指導に関すること (3) 感染予防の教育に関すること (4) 職員の職業感染対策に関すること (5) 院内感染の原因調査、経過の追跡、整理及び分析等に関すること (6) 感染制御部の管理及び運営に関すること (7) その他感染対策に関すること	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 ２回
・ 研修の主な内容： (1) 医療関連感染防止のための基本的知識の習得 (2) 処置別感染防止のための基本的知識の習得と最新の情報を知る (3) 抗菌薬の適正使用に関連したこと (4) 職業感染対策について 平成２８年度については、以下の内容で全職員を対象として研修を実施した。 ①研修会 月日 ：平成28年4月19日 テーマ ：「当院における感染対策について」 講師 ：院内講師 ビデオ講習：平成28年5月16日 平成28年5月18日 平成28年5月19日 ②研修会 月日 ：平成28年11月7日 テーマ ：「グローバル時代の感染症とその対策 ～いま、そこにある危機～」 講師 ：院外講師 ビデオ講習：平成28年12月 6日 平成28年12月 9日 平成28年12月15日 ※2回とも100％で研修を終えている。	

④　感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況
・　病院における発生状況の報告等の整備　　（ 有・無 ） ・　その他の改善のための方策の主な内容： ・収集した各データや問題点をICT会で検討してる。 ・対策を検討し必要な項目は、感染対策委員会へ提案、協議している。

(注）前年度の実績を記入すること。

（様式第 6）

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 8回

・ 研修の主な内容：

研修日	対象者	研修内容	講師
28.04.04	医療職員新採用者、研修医	薬剤部の機構と運営「薬剤部の利用について」「医薬品情報-閲覧手順について」「処方箋の取り扱いについて」「麻薬の取り扱いについて」「抗がん剤の取り扱いについて」	薬剤部長 副薬剤部長 薬剤主査
28.04.20	看護師	薬剤研修ステップ１「薬剤の管理 －リスクマネジメントの視点から－」	薬剤主査
28.06.07	新規採用医師	くすりによる事故を起こさないために	薬剤主査
28.07.11	新人看護師	薬剤研修ステップ２「麻薬の取り扱いについて～守ってほしい６つのルール～」	副薬剤部長
28.09.07	1-6 東看護師	抗がん剤の血管外漏出について	病棟担当薬剤師
28.10.01	治験・臨床研究を行う医療従事者	CRC による人医学系研究・治験の支援について	薬剤主査
28.10.26	1-8 西看護師	眼科における薬剤師の点眼指導	病棟担当薬剤師
28.12.07	1-5 東看護師	小児科病棟会	病棟担当薬剤師

③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

・ 手順書の作成 （ 有・無 ）
・ 業務の主な内容：

（１） 医薬品の適正な採用医薬品の適正な採用
（２） 医薬品の適正な管理
（３） 処方箋への記載・投与指示と調剤
（４） 患者への適正な投与と服薬に関する指導（薬剤管理指導）
（５） 医薬品の適正使用のための情報管理（安全性情報収集と提供）
（６） 他の医療提供施設との連携
（７） 医薬品服用中の自動車運転等の禁止等に関する患者への説明
（８） 医薬品の安全使用のための情報整理、周知及び当該周知の状況の確認

④　医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況
・　医薬品に係る情報の収集の整備　　（ 有・無 ） ・　その他の改善のための方策の主な内容： （１）　医薬品を適正に使用するため、医薬品の安全性情報と患者情報の収集を行う。 （２）　経過観察が必要な薬剤の投与にあたっては、投与中・投与後の経過観察を継続して行う。 （３）　特に、発売１年以内の新薬については、副作用のモニタリングを行う。 （４）　特定薬剤の血中濃度モニタリングを実施する。 （５）　薬剤部より月１回「DI　EXPRESS」を発行している。 （６）　処方オーダーなど病院情報システムを利用するものについては、医療情報部と連携し、情報を当該端末機にホームページでお知らせする。 （７）　リスクマネージャー連絡会議などを通じて事故防止対策を周知している。

（注）前年度の実績を記入すること。

（様式第 6）

規則第１条の 11 第２項第３号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
②　従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年　８回

・　研修の主な内容：
PCPS、人工呼吸器、血液浄化装置、電気メス、ＣＡＰＤ　計8回
研修内容には、以下の事項を含む。
医療機器の有効性・安全性に関する事項
使用方法に関する事項
保守点検に関する事項
不具合等が発生した場合の対応に関する事項
特に法令上遵守すべき事項

③　医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

・　医療機器に係る計画の策定　　（　有・無　）
・　保守点検の主な内容：

血液浄化装置、人工呼吸器、閉鎖式保育器、人工心肺装置、人工心肺装置補助循環装置
徐細動器、ライナック、ＲＡＬＳ

④　医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・　医療機器に係る情報の収集の整備　　（　有・無　）

（情報収集の方法）
(1) 添付文書の保管
各保守点検実施責任者への添付文書、取扱説明書、修理報告書の保管の周知
(2) 安全情報の収集
厚生労働省やPMDAからの通達等、メーカーからの通知等、学会の指針等

（情報の周知方法）
・「ＭＥだより」の発行
・「医療機器安全だより」メーリングリスト
・厚労省通達・メーカーからの回収情報等

・　その他の改善のための方策の主な内容：

（注）前年度の実績を記入すること。

（様式第 6）

規則第９条の 23 第１項第１号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
・責任者の資格（ 医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者に「安全・個人情報担当」の副病院長（医師）をもって充て、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者を統括している。	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（８名）・無

③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況

・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況

収集した医薬品情報を 3 分類（最重要、重要、その他）し、使用患者、処方医等を調査し医薬品安全性情報等を院内メール、院内通知書、DI Express で病院全職員へ周知すると共に、最重要、重要の項目については各病棟担当薬剤師が追加説明等を行う体制を構築している。周知確認は、重要度にあわせて署名者を指定（全職員又は関連職員）するなどし、薬剤部 DI センターで関連書類を管理している。

・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況

未承認医薬品は「治験及び人を対象とする医学系研究等倫理審査委員会」の審査を受ける。医薬品の禁忌・適応外使用については、病棟薬剤業務及びセントラル業務を通して使用時状況の確認をし、医師から「既承認医薬品の適応外使用報告書」をDIセンターに提出をすることで把握する。報告書をもとにリスク分類（A、B、C）し、リスクAは倫理審査委員会での審査、リスクBは文書での患者への説明と同意、リスクCは口頭での患者への説明と同意を原則とすることとしている。
医薬品の禁忌使用の把握については、禁忌チェックシステムを利用する。

・担当者の指名の有無（有・無）

・担当者の所属・職種：

（所属：DI センター、職種：薬剤師）　（所属：臨床研究センター、職種：薬剤師）

（所属：医療安全推進部、職種：薬剤師）　（所属：　　、職種　　）

（所属：　　、職種　　）　（所属：　　、職種　　） （所属：　　、職種　　）　（所属：　　、職種　　）	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有・無
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無　（ 有・無 ） ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：一定期間で抽出した患者のカルテを確認し、説明書・承諾書等の記載内容等について改善指導を行っている。	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容： 診療情報管理士による診療録等の記載内容の量的・質的点検を実施し、不備を指摘している。 医師による診療録の監査を実施し、結果を診療録センター運営委員会で報告し、記載不備等があれば診療科へ是正を勧告している。	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
・所属職員：専従（２）名、専任（２）名、兼任（１７）名 うち医師：専従（０）名、専任（１）名、兼任（６）名 うち薬剤師：専従（０）名、専任（１）名、兼任（１）名 うち看護師：専従（２）名、専任（０）名、兼任（６）名 うち診療放射線技師：専従（０）名、専任（０）名、兼任（１）名 うち臨床検査技師：専従（０）名、専任（０）名、兼任（１）名 うち事務：専従（０）名、専任（０）名、兼任（２）名 （注）報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること ・活動の主な内容： （１）医療安全管理委員会の議事録作成及び庶務に関すること。 （２）医療安全管理委員会から提案された業務の実施に関すること。 （３）医療事故及びインシデント報告の分析並びに再発防止策の検討及び提言に関すること。 （４）医療事故防止策の実施状況の必要に応じた調査及び防止策の見直し・立案に関すること。 （５）院内死亡事例の検証に関すること。 （６）医療の安全管理に係る企画・立案及び広報並びに啓蒙・啓発に関すること。 （７）リスクマネジャーとの連絡調整に関すること。 （８）医療の安全管理に係る教育・研修に関すること。 （９）他の委員会に対する勧告案の作成に関すること。 （10）事故等に関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることの確認等に関すること。 （11）患者や家族への説明など事故発生時の対応状況についての確認等に関すること。	

（12）事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認等に関すること。
（13）その他医療安全対策の推進に関すること。

※　平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※　医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦　高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）
・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）
・活動の主な内容：
　申請内容の確認、及び当該医療技術の提供の適否、実施を認める条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該医療技術の提供の適否等を決定し、申請を行った診療科長等に対してその結果を通知する。また、当該医療技術が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に手術記録、診療録等の記載内容、遵守状況を確認し、その内容を病院長、医療安全管理委員会等に対して報告する。
・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）
・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有・無 ）

⑧　未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）
・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）
・活動の主な内容：
　申請内容の確認、及び当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等について意見を求め、その意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否、使用条件等を決定し、申請を行った診療科長等に対してその結果を通知する。また、当該未承認新規医薬品等が適正な手続に基づいて提供されていたかどうかに関し、定期的に診療録等の記載内容、遵守状況を確認し、その内容を病院長、医療安全管理委員会等に対して報告する。
・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）
・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無　（ 有・無 ）

⑨ 監査委員会の設置状況	有・無

・監査委員会の開催状況：年　２回

・活動の主な内容：

（１）医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について管理者等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。

（２）必要に応じ、本院の開設者又は管理者に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明する。

（３）（１）、（２）に掲げる活動について、その結果を公表する。

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ 有・無 ）

・委員名簿の公表の有無（ 有・無 ）

・委員の選定理由の公表の有無（ 有・無 ）

・公表の方法：大学ウェブページに委員名簿及び選定理由を掲載

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
河村 康明	山口県医師会	○	医療に係る安全管理に関する専門的知識を有するため	有・無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
大田 明登	大田明登法律事務所		法律に関する識見を有するため	有・無	1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
玉田 英生	宇部興産株式会社		医療を受ける者の代表者	有・無	2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1. に掲げる者を除く。）

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1. に掲げる者を除く。）
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年　296 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年　122 件（ｲﾝｼﾃﾞﾝﾄﾚﾍﾞﾙ 3b 以上）

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

毎月 1 回の定例会議において、医療安全管理部門から前々月分の院内死亡事例の検証結果についての報告を受けて、医療事故調査制度への報告の判断等について検討を行う。

⑪ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（ 有（予定） （病院名：山形大学医学部附属病院）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ 有（予定） （病院名：東京大学医学部附属病院）・無）

・技術的助言の実施状況

平成 29 年度は、以下の日程で立入りを実施し、技術的助言を遂行する予定である。

10 月 20 日　東京大学医学部附属病院からの立入り受入れ

12 月 5 日　山形大学医学部附属病院へ立入り

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

院内に患者相談窓口を設置しており、相談内容によって該当部署（医療安全管理に係る相談については医事課医療安全係）が対応している。

患者の希望に添った形で相談を受けており、相談の取扱いについては、早期解決に努め、相談情報の秘密保護に万全を期すとともに、患者や家族に不利益を与えないように配慮している。また、相談場所として、プライバシーを守れる部屋を設置して対応している。なお、苦情相談専用番号は設置していないが、各部署と連携を取り、解決にあたっている。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有・無 ）

・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（ 有・無 ）

・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有・無 ）

⑭ 職員研修の実施状況
・研修の実施状況 全職員を対象に年２回の医療安全に関する講習会を実施しており、全職員が受講できるように複数回のビデオ講習会を実施している。その他、職種別（新規（中途）採用医師、研修医、看護師・コメディカル）に医療に係る安全管理のための研修会を随時実施している。
⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
・研修の実施状況

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1　病院の機能に関する第三者による評価

①　病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 平成26年4月4日付けで「病院機能評価（機能種別版評価項目3rdG：Ver.1.0）一般病院２」に認定	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2　果たしている役割に関する情報発信

①　果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 HP、冊子等の広報媒体を通して、情報を発信している。	

3　複数の診療科が連携して対応に当たる体制

①　複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 他科とのコンサルテーションを実施している。	

(様式第 8)

口大医総第５７０号
平成２９年１０月３日

厚生労働大臣　　殿

開設者名　　国立大学法人山口大学長
岡　　正　朗

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

国立大学附属病院長会議が実施検討している研修に、平成３０年度から参加させる予定である。

2. 医療安全管理部門の人員体制

所属職員：専従（２）名、専任（２）名、兼任（１７）名
うち医師：専従（０）名、専任（１）名、兼任（６）名
うち薬剤師：専従（０）名、専任（１）名、兼任（１）名
うち看護師：専従（２）名、専任（０）名、兼任（６）名
うち診療放射線技師：専従（０）名、専任（０）名、兼任（１）名
うち臨床検査技師：専従（０）名、専任（０）名、兼任（１）名
うち事務：専従（０）名、専任（０）名、兼任（２）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

医療安全推進部（医療安全管理部門）に専任の医師１名、薬剤師１名と専従の看護師２名を配置済である。平成３０年度までに専任の医師２名、薬剤師２名の配置に向け進めている。平成３２年度までに専従の医師、薬剤師を配置できるよう引き続き検討していく。